



マスターガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

- ▶本製品を正しく安全にご使用いただくため、また性能を十分理解していただくために、この取扱説明書を必ずお読みいただき、 大切に保管してください。
- ▶ 本書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
- ▶ 本製品の仕様ならびに本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ▶ 本製品および本書の内容について、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、当社あてにご連絡ください。
- ▶ 本製品の故障の有無にかかわらず、本製品をお使いいただいたことによって生じた直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- ▶本製品により作られた製作物に対して生じた、直接ないし間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

月]草 基本編	•••••
はじめに	•••••
各部の名称	
本機のシステム構成	
BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログの表示方法	
ユーティリティの表示方法/終了方法	
R-Worksの起動方法	
BN-20 ドライバー/ R-Works のヘルブの表示方法	•••••
使用できるメテイアの条件	•••••
本機ぐぐさること	•••••
ご () にんける の 願い	•••••
電源のインイン	•••••
电源イン 電源ナフ (サブ電源)	•••••
电/// (ソノ电///) プリントを行う	•••••
ノリノトを11 ノ STEP1・メディアの取り付け	•••••
STEP2:双方向調整	•••••
STEP2:テストプリントとノーマルクリーニング	•••••
STEP4:メディア送り補正	
STEP5:出力開始	
カッティング/プリント&カットを行う	•••••
カット調整	
カット調整 切り込み量を細かく調整する	
カット調整 切り込み量を細かく調整する プリント&カット調整	
カット調整 切り込み量を細かく調整する プリント&カット調整 カッティング/プリント&カット用データの作成	
カット調整	
カット調整 切り込み量を細かく調整する プリント&カット調整… カッティング/プリント&カット用データの作成 カッティングを伴う出力時のご注意… プリントとカッティングを別々に行う プリントとカッティングを別々に行うには クロップマーク付きで印刷する 自動で位置を合わせてカッティングする クロップカット調整… メタリックシルバーインクを使う メタリックシルバーインクを使う メタリックカラーを使った印刷データの作成(R-Works)	
カット調整	
カット調整	
カット調整 切り込み量を細かく調整する プリント&カット調整 カッティング/プリント&カット用データの作成	
カット調整 切り込み量を細かく調整する プリント&カット調整 カッティング/プリント&カット用データの作成 カッティングを伴う出力時のご注意 プリントとカッティングを別々に行う プリントとカッティングを別々に行うには クロップマーク付きで印刷する 自動で位置を合わせてカッティングする クロップカット調整 メタリックシルバーインクを使う メタリックシルバーインクの特性と注意事項 メタリックカラーを使った印刷データの作成 (R-Works) メタリックカラーを使った印刷データの作成 (一般的な作図用アプリ) ブレンド印刷とレイヤー印刷 ブレンド印刷(メタリックシルバー+ CMYK) レイヤー印刷(メタリックシルバー→ CMYK)	
カット調整 切り込み量を細かく調整する プリント&カット調整 カッティング/プリント&カット用データの作成 カッティングを伴う出力時のご注意 プリントとカッティングを別々に行う プリントとカッティングを別々に行うには クロップマーク付きで印刷する 自動で位置を合わせてカッティングする クロップカット調整 メタリックシルバーインクを使う メタリックシルバーインクの特性と注意事項	
カット調整 切り込み量を細かく調整する プリント&カット調整	
カット調整 切り込み量を細かく調整する プリント&カット調整 カッティング/プリント&カット用データの作成 カッティングを伴う出力時のご注意	

− 男 3 草 − メンテナンス編	
はじめに:メンテナンスについて	68
自動メンテナンス機能と注意事項	
継続的なメンテナンスを	
長期間使用しないときのご注意 1	
長期間使用しないときのご注意 2	
インク残量の確認とインクカートリッジの交換	70
インク残量の確認	
インクカートリッジの交換方法	71
日常メンテナンス	72
インクカートリッジのメンテナンス	72
清掃	72
廃液カートリッジの交換	73
プリントヘッドのお手入れについて	74
定期的なクリーニングメンテナンス	75
定期クリーニングの方法について	75
ミディアム/パワフルクリーニング	75
手動クリーニング	77
消耗部品の交換	79
ワイパーの交換	
フェルトワイパーの交換	
カッターの交換	
移送するときは	83
移送準備から冉設置までの作業	
第4章 付録	
第4章 付録	85
第4章 付録 困ったときに読んでください 動いてくれない	
第4章 付録 困ったときに読んでください 動いてくれない	
第4章 付録 困ったときに読んでください 動いてくれない	85
第4章 付録 困ったときに読んでください	85
第4章 付録 困ったときに読んでください	85
第4章 付録 困ったときに読んでください	85
第4章 付録 困ったときに読んでください	85
 第4章 付録 困ったときに読んでください	85 86 86 87 89 90 90 91 92 94 94
 第4章 付録 困ったときに読んでください	85 86 86 87 89 90 90 91 92 94 94 96 96
 第4章 付録 困ったときに読んでください 動いてくれない きれいに印刷/カッティングできない メディアが詰まった・・・! メディアの送りが安定しない プリントヘッドが動かない ドライバーをインストールできない ドライバーをアンインストールする ー般的アプリケーションからの出力時のご注意 Adobe Illustrator から出力するときの注意事項 CorelDRAW から出力するときの注意事項 	85
 第4章 付録 困ったときに読んでください	85
 第4章 付録 困ったときに読んでください	85 86 86 87 89 90 90 91 92 94 92 94 96 96 96 97
 第4章 付録 困ったときに読んでください	85 86 86 87 89 90 90 91 92 94 94 96 96 96 97 97 97
 第4章 付録 困ったときに読んでください	85 86 86 87 89 90 90 91 92 94 94 96 96 96 97 97 97 98
 第4章 付録 困ったときに読んでください	85 86 86 87 89 90 90 91 91 92 94 94 96 96 96 96 97 97 97 97 98 101
 第4章 付録 困ったときに読んでください 動いてくれない きれいに印刷/カッティングできない メディアが詰まった・・・! メディアの送りが安定しない プリントヘッドが動かない ドライバーをインストールできない ドライバーをアンインストールする 一般的アプリケーションからの出力時のご注意 Adobe Illustrator から出力するときの注意事項 CoreIDRAW から出力するときの注意事項 メッセージ/エラーメッセージへの対応 メッセージが表示された エラーメッセージが表示された 主な仕様 最大領域 クロップマーク使用時の最大領域 	85
 第4章 付録 困ったときに読んでください 動いてくれない きれいに印刷/カッティングできない メディアが詰まった・・・! メディアの送りが安定しない プリントヘッドが動かない ドライバーをインストールできない ドライバーをアンインストールする 一般的アプリケーションからの出力時のご注意 Adobe Illustrator から出力するときの注意事項 CoreIDRAW から出力するときの注意事項 メッセージ/エラーメッセージへの対応 メッセージが表示された エラーメッセージが表示された エラーメッセージが表示された エラーメッセージが表示された 	85 86 87 89 90 91 92 94 96 96 96 97 97 97 98 101 101 101
 第4章 付録 困ったときに読んでください 動いてくれない きれいに印刷/カッティングできない メディアが詰まった・・・! メディアの送りが安定しない プリントヘッドが動かない ドライバーをインストールできない ドライバーをアンインストールする 一般的アプリケーションからの出力時のご注意 Adobe Illustrator から出力するときの注意事項 CoreIDRAW から出力するときの注意事項 メッセージが表示された エラーメッセージが表示された 主ち仕様 最大領域 クロップマーク使用時の最大領域 カッターについて 定格電源およびシリアル番号の表示位置 	85 86 86 87 89 90 91 92 94 96 96 96 97 97 97 98 101 101 101 102 102
 第4章 付録 困ったときに読んでください 動いてくれない きれいに印刷/カッティングできない メディアが詰まった・・・! メディアの送りが安定しない プリントヘッドが動かない ドライバーをインストールできない ドライバーをアンインストールする 一般的アプリケーションからの出力時のご注意 Adobe Illustrator から出力するときの注意事項 CoreIDRAW から出力するときの注意事項 メッセージが表示された エラーメッセージが表示された 主ち仕様 最大領域 クロップマーク使用時の最大領域 カッターについて 定格電源およびシリアル番号の表示位置 寸法図 	85 86 86 87 89 90 91 92 94 96 96 96 97 97 98 101 101 101 102 102 103



目次	1
はじめに	4
	4
本機のシステム構成	5
BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログの表示方法	7
ユーティリティの表示方法/終了方法	8
R-Works の起動方法	9
BN-20 ドライバー/ R-Works のヘルプの表示方法	9
使用できるメディアの条件	10
本機でできること	11
ご使用におけるお願い	12
電源のオンオフ	13
電源オン	13
電源オフ(サブ電源)	14

各部の名称



本機のシステム構成

本書は、Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual に対応しています。本書では、Roland VersaWorks および Roland VersaWorks Dual を総称して「VersaWorks」と呼びます。

CMYK インクモデル/シルバーインクモデル





BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログの表示方法

※ ホワイトインクモデルでは、BN-20 ドライバーでの印刷設定はできません。

手順

2

Windows 10 の場合

スタートメニューから[設定]-[デバイス]-[デバイスとプリンター]の順にクリックする。 Windows 8.1 の場合

[デスクトップ]をクリックする。マウスを右下脇に移動してチャームを表示させ、[設定]をク リックする。[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイスとプリンターの 表示]の順にクリックする。

Windows 7 の場合

[スタート]-[デバイスとプリンター]の順にクリックする。

Roland BN-20		印刷ジョブの表示(E)
		印刷設定(G)
	-	···· ·································
		ショートカットの/作成(S)
	•	デバイスの削除(V) トラブルシューティング(T)
		プロパティ(R)

「Roland BN-20」のアイコンをマウスの右ボタ ンでクリックし、印刷設定をクリックする。 BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログが開きま す。

メディアサ	イズ				
A2		~			CORIAREA
幅(₩): ■⇒(1):	420.0	r	nm	~	1 ÷ #
secies.	幅を取得]			25-
ドロロルエート					
CMYK (G 口双方向 口双方向) nensij 2. Dianc	~ *		<u>ب</u> ۲	(MYK) 加期股空に戻す ージョン情報(A)

BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログ



ユーティリティの表示方法/終了方法

ユーティリティの表示方法



タスクトレイに 🔤 が無い場合は、Windows のスタートメニューから起動してください。

Windows の〔スタートメニュー〕から起動する方法

Windows 10

スタートメニューから [BN-20 Win Utility] をクリックする。

Windows 8.1 の場合

[スタート] 画面の何もないところで右クリックしてアプリバーを表示させ、[すべてのアプリ] をクリックする。 [BN-20 Win Utility] をクリックする。

ユーティリティが起動します。

Windows 7 の場合

[スタート] メニューから [すべてのプログラム) – [BN-20 Win Utility] – [BN-20 Win Utility] の順 にクリックする。

ユーティリティの終了方法



タスクトレイにある 🤜 (ユー ティリティアイコン)をマウス の右ボタンでクリックし、「終了」 をクリックする。 ユーティリティが終了します。

R-Works の起動方法

Windows 10 の場合

スタートメニューから [R-Works] をクリックする。

Windows 8.1 の場合

[スタート] 画面の何もないところで右クリックしてアプリバーを表示させ、[すべてのアプリ] をクリッ クする。 [R-Works] をクリックする。

Windows 7 の場合

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]-[R-Works]-[R-Works]の順にクリックする。

※ ホワイトインクモデルでは、R-Works から出力できません。

BN-20 ドライバー/ R-Works のヘルプの表示方法

BN-20 ドライバー

BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログを表示し、「ヘルプ」をクリックする。

☞ P.7「BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログの表示方法」

.	Roland	В	N-20 Ē	印刷設	定 ×
設定プリ	ンタ制御 色調整	1			
メディアサ	イズ				
A2		¥			ED局I合時数
幅()):	420.0				1 意
長さ(」):	594.0		mm	~	
	植发取得				127-
	I B C IXI'I				
メディアタ	イプ				
塩ビ 一般	受1				~
印刷モー	e			1	\sim
CMYK (<i>i</i>)	~		1	
□ 双方1	句印刷			5	
				0	
10 A					~
Imagin	3.				
	bland'				*川朔福東定に戻9
)	ドージョン情報(<u>A</u>)
OK	ter.	47 II		· 滴田(
UK	+7/	C)I)四円()	

9

R-Works

R-Works	ファイル(F)	編集(E)	ヘルプ(H)	
MAIN			目次(C)	F1
			ハーンヨノ 同報(A)

Windows 10 の場合

スタートメニューから [R-Works] の [R-Works ヘルプ] をクリックする。

Windows 8.1 の場合

[スタート] 画面の何もないところで右クリックしてアプリバーを表示させ、[すべてのアプリ]をクリッ クする。[R-Works] の [R-Works ヘルプ] アイコンをクリックする。

Windows 7 の場合

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]-[R-Works]-[R-Works ヘルプ]の順にクリックする。

使用できるメディアの条件

本機は、どんなメディアにでも出力できるわけではありません。メディアの選定にあたっては、必ずテス トを行い、満足できる出力品質が得られるか事前に確認してください。

メディアの種類について

本書では、出力に使用する用紙を「メディア」と呼びます。本機で使用するメディアには大きく分けて次 の2種類があります。

> ロールメディア:紙管などに巻かれているもの

> カットメディア:定型サイズのメディアなど、紙管に巻かれていないもの

ロールメディア、カットメディア共に用途に合わせて様々な紙質の種類を選択できます。各メディアの詳細については、メディアの購入先にお問い合わせください。また、当社ウェブサイトからの購入も可能です。 http://www.rolanddg.co.jp/

サイズ

幅(ロールメディア、カットメディア共通)

▶ 150 ~ 170 mm (5.9 ~ 6.7 インチ)

- ▶ 200 ~ 235 mm (7.9 ~ 9.3 インチ)
- ▶ 287 ~ 322 mm (11.3 ~ 12.7 インチ)
- ▶ 348 ~ 383 mm(13.7 ~ 15.1 インチ)
- ▶ 393 ~ 429 mm(15.5 ~ 16.9 インチ)
- ▶ 439 ~ 474 mm (17.3 ~ 18.7 インチ)
- ▶ 487 ~ 515 mm(19.2 ~ 20.3 インチ)

カッティング可能なメディア厚み(ロールメディア、カットメディア共通) 最大 0.22 mm(メディアの材質による)

台紙(剥離紙)を含む最大メディア厚み(ロールメディア、カットメディア共通)

プリントのみの場合:1.0 mm

カッティングする場合:0.4 mm

ロールメディアの最大外径

150 mm

ロールメディアの紙管内径

76.2 mm (3 インチ) および 50.8 mm (2 インチ)

ロール最大重量

6 kg

その他の条件

次のようなメディアは使用できません。

- >メディアの巻き始めが紙管(芯)に接着されているもの
- ▶ 強く反っていたり、巻き癖の強いもの
- >メディアヒーティングシステムの熱に耐えられないもの
- ▶紙管(芯)が曲がったりつぶれたりしているもの
- > セット時にロールが自重で曲がってしまうもの
- > ロール自体がたわんでいるもの
- ▶ ロールに巻きずれがあるもの

本機でできること

本機では次の4つの方法で出力できます。

プリント (のみ)	インクを使った印刷のことです。「プリント&カット」などと区別するた めに「プリントのみ」という言い方をすることもあります。
カッティング(のみ)	シールの型抜きなど、カッターを使った切り抜きのことです。「プリント &カット」などと区別するために「カッティングのみ」という言い方を することもあります。
プリント&カット	プリントの後、続けてカッティングを行う出力方法のことです。プリン トとカッティングの両方の情報を含んだ出力データを本機に送ると、プ リント終了後に続けてカッティング動作が始まります。
クロップカット	プリントとカッティングの位置合わせをするための"クロップマーク"を 使った出力方法です。"プリントしたメディアをいったん取り外してラミ ネート加工し、再セットしてカッティングを行う"といった場合に、クロッ プマークを使って位置合わせします。

ご使用におけるお願い

定期的に使用してください

1週間に一度は本機を動かすことをおすすめします。長期間使用しないと、インクが沈殿して吐出が不安 定になること(ノズル抜けなど)があります。そのような場合には、沈殿して固まったインクを排出する 必要があります。

ホワイトインクとメタリックシルバーインクの取扱いについて

ホワイトインクとメタリックシルバーインクの取り扱いには、他の色のインクにはない大切なご注意があります。P. 40「メタリックシルバーインクの特性と注意事項」および『特色インクガイド』の「重要: インクの特性と注意事項」をご参照ください。

電源のオンオフ

▲ 警告 出力していないときは、メディアを外すか、サブ電源をオフにする。 同じ場所を熱し続けると、メディアから有害ガスが出たり、発火する恐れがあります。

電源オン

手順

- 1 フロントカバーを閉じる。
- 2 メイン電源をオンにする。

B POWER キーを押す。

POWER キーのランプが点滅から点灯に変わったら起動完了です。



電源オフ(サブ電源)

手順

- 出力が終了したら POWER キーを 1 秒以上長押しする。
 POWER キーのランプが消灯したら電源オフ完了です。
- 2 ローディングレバーを後ろに倒す。

電源をオフにする時ではなくても、本機を使用しないときはローディングレバーを後ろに倒しておいてください。



メイン電源は常にオンにしておいてください

メイン電源はオフにしないでください。オンにしておくことで自動メンテナンス機能が定期的に行われ ます。自動メンテナンスを行わないとプリントヘッドが壊れるなど、本機の故障の原因となります。

動作中にいきなりメイン電源をオフにしたり、コンセントを抜いたりしないでください

動作中にいきなりメイン電源をオフにしたり、コンセントを抜いたりすると、プリントヘッドが壊れる ことがあります。必ず先にサブ電源スイッチである POWER キーを長押ししてサブ電源をオフにしてく ださい。誤ってオフにしてしまったときは、すぐにメイン電源とサブ電源(POWER キー)をオンにし 直してください。

スリープモード(省電力機能)について

本機は省電力機能を持っており、何の動作もしていない状態が約 30 分続くとより消費電力の少ない「ス リープモード」に切り替わります。スリープモードになると、POWER キーがゆっくり点滅します。 POWER キーを操作したり、メディアをセットした状態でコンピューターから印刷データを送ったりする と、通常のモードに戻ります。

プリントを行う

ここではプリントのみを行う場合の操作方法を説明します。カッティングを伴う出力を行う場合は、 P. 28「カッティング/プリント&カットを行う」、P. 35「プリントとカッティングを別々に行う」を参 照してください。

STEP1:メディアの取り付け

ロールメディア

手順

① ローディングレバーを後ろに倒す。
 ② 左メディアガイドを左に寄せる。





メディアバーの片側にメディアフランジを取り付ける。

メディアバーの側面に穴が空いている方にメ ディアフランジを通し、固定ピンで固定してく ださい。メディアフランジは2つのうちどちら か一方を使い、ロールメディアの紙管内径サイ ズにぴったり合う方を内側にしてください。

③ ロールメディアをメディアバーに取り付ける。

メディアフランジを両側の紙管に押し込みます。固定したメディアフランジを下にし、上から見たと きにメディアの巻き方向が時計周りになるようにしてください。向きを間違えると、メディアを正し くセットできません。



④ メディアバーに取り付けたロールメディアをプリンタにのせる。

メディアがたるまないようにしながら、メディアバーの両端をプリンタ後方にある溝に押し入れてください。



⑤ ①メディアフランジが右メディアガイドに当たるように、ロールメディアを右に寄せる。
 ② 左メディアガイドをスライドさせてメディアフランジに押し当てる。



6 メディアをプリンタに通す。

メディアは、たるみがないようにまっすぐ引き出し、メディアクランプの下を通るようにしてください。



▲ 注意 ピンチローラーは直接手で動かせません。メディアガイドで移動させてください。 無理に動かそうとすると、あやまってけがをするおそれがあります。



⑦ ① 左メディアガイドがメディアフランジに押し当てられていることを確認する。
 ② フロントカバーを閉じる。

③ ローディングレバーを手前に起こす。



17

カットメディア

手順

① ローディングレバーを後ろに倒す。
 ② 左メディアガイドを左に寄せる。



② ① メディアを右に寄せて、右メディアガイドに当てる。
 ② 左メディアガイドをスライドさせてメディアに当てる。



メディアをプリンターに通す。

メディアは、たるみがないようにまっすぐ引き出し、メディアクランプの下を通るようにしてください。



▲注意 ピンチローラーは直接手で動かせません。メディアガイドで移動させてください。 無理に動かそうとすると、あやまってけがをするおそれがあります。



- ① 左メディアガイドがメディアに当てられていることを確認する。
 ② フロントカバーを閉じる。
 - ③ ローディングレバーを手前に起こす。



STEP2:双方向調整

この調整は、次の場合に必ず行ってください。これらに該当しない場合は、行う必要はありません。 P.22「STEP3:テストプリントとノーマルクリーニング」に進んでください。

▶ 本機をはじめて使用する場合

▶使用するメディアの種類を変更する場合

双方向印刷と双方向調整とは

本機では、シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)、ブラック(K)の4色で印刷する場合に、ヘッド が往復する両方の動きで印刷する『双方向印刷』ができます。双方向印刷は、出力時間を短縮できるとい うメリットがありますが、往復時に微妙なずれを生じます。このずれを補正するための作業が「双方向調整」 です。

BN-20 ドライバー:双方向印刷するための設定方法 (ホワイトインクモデルの場合、BN-20 ドライバーで	では設定できません。)
手順	
 1 BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログを表 [∞] P.7「BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログの表示方法 2 「設定」タブの「印刷モード」で [CMYK (v 	示する。 ^{転」})〕を選択する。
3 Roland BN-20 印刷設定 × 設定 カンク制御 色調整 メディアサイズ A2 「 福(W): 4200 長さ(L): 594.0 mm ▼ 長さ(L): 594.0 □ 三 コラー	「双方回印刷」にナエックを入れる。
×F 47947 塩ピー粉1 「印刷モード CMYK (v) 「図方向印刷」	

VersaWorks:双方向印刷する方法

VersaWorks では、印刷品質で「ドラフト」を選択している場合に双方向印刷になります。 印刷品質の設定方法については、VersaWorks のヘルプ「ジョブの印刷設定をする」-「印 刷品質を設定する」を参照してください。

手順

2

ユーティリティを表示する。 P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」

BN-20 Utility

インク 調整 交換 オプション ノズル抜けの確認 双方向調整 すべて 2.17.2022.003 カット調整 プリント&カット調整 クロップカット調整 手動クリーニング ステータス 閉じる B × 双方向調整 解脱 双方向印刷のずれを補正します。チェックパターンを印 刷して、ずれの最も少ないところを見つけます。そこに印 刷された数値を14周正値に入力してください。 パターン印刷 現在の補正値: 0 ô -10 +10 新しい補正値: 0 適用

「双方向調整」をクリックする。

×

「**パターン印刷」をクリックする**。 テストパターンが印刷されます。

④ 画面の解説を読んで「新しい補正値」に数値を入力する。

閉じる

「適用」をクリックする。 「現在の補正値」の値が入力した値に変わります。

6 「閉じる」をクリックする。

STEP3:テストプリントとノーマルクリーニング



閉じる

⑤ もう一度ノズル抜けを確認する。 ⇒ **⑧** へ

ノズル抜けが直らない場合は、「ノーマルクリーニング」を繰り返してください。「ミディアムクリーニング」「パワフルクリーニング」については、P. 75「ミディアム/パワフルクリーニング」を参照 してください。

STEP4:メディア送り補正

手順

B

ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」



「メディア送り補正」をクリックする。

「**パターン印刷」をクリックする**。 テストパターンが印刷されます。

④ 画面の解説を読んで「新しい補正値」に数値を入力する。

821H

メディア送り方向のすれる補正し、様すじを目立たな くします。チェックパターンを印刷して、上下の四角形 のすきまや重なりが最も小さいところを見つけます。そ こに印刷された数値を1補正値に入力してください。

×

閉じる

「適用」をクリックする。 「現在の補正値」の値が入力した値に変わります。

⑥「閉じる」をクリックする。

パターン印刷

通用

現在の補正値: 0.00 新しい補正値: 0.00

STEP5:出力開始

ここでは、R-Works から出力する方法を説明します。

VersaWorks から出力する場合は『VersaWorks インストールガイド』および『特色インクガイド』を参照 してください。市販の作図用アプリケーションソフトから出力する場合は、お使いのアプリケーションソ フトの取扱説明書を参照してください。

手順

R-Works を起動する。

☞ P.9「R-Works の起動方法」

2 作図する。

R-Works のヘルプ「操作手順」の「Step 1: 新規プロジェクトを作る」、「Step 2: 印刷データをつくる」 を参照して作図してみてください。

☞ P.9「BN-20 ドライバー / R-Works のヘルプの表示方法」

🕑 出力する。

R-Works のヘルプ「操作手順」の「Step 4:出力する」を参照してください。



出力が完了したら、メディアを切り離す。 市販のカッターナイフなどで切り離してください。

印刷開始位置について

出力開始位置は常に図の位置になります。



出力を中止する

1. プリンター側で出力中止する



出力中に POWER キーを 1 秒以 上押す。 出力が中止します。中止時点から の再開はできません。

この操作を行っても、まだコンピューターに出力待ちデータが残っています。コンピューターに残ったデー タを取り消すには、次の方法で行ってください。 2. コンピュータ側で出力中止する(出力待ちデータを取り消す)

Windows 10

スタート メニューから [設定] – [デバイス] – [デバイスとプリンター] の順にクリックする。 Windows 8.1

[デスクトップ]をクリックする。マウスを右下脇に移動してチャームを表示させ、[設定]をク リックする。[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイスとプリンターの 表示]の順にクリックする。

Windows 7

[スタート]-[デバイスとプリンター]の順にクリックする。

BN-20 のアイコンをダブルクリックする。



[プリンタ]-[すべてのドキュメントの取り消し]の順にクリックする。

コンピューターのデータ転送状況によっては、出力中止が間に合わないことがあります。中止したい場合 は、プリンタ側で出力を中止してください。



カッティング/プリント&カットを行う28
カット調整28
切り込み量を細かく調整する30
プリント&カット調整31
カッティング/プリント&カット用データの作成
カッティングを伴う出力時のご注意
プリントとカッティングを別々に行う35
プリントとカッティングを別々に行うには
クロップマーク付きで印刷する35
自動で位置を合わせてカッティングする
クロップカット調整39
メタリックシルバーインクを使う40
メタリックシルバーインクの特性と注意事項
メタリックカラーを使った印刷データの作成(R-Works)41
メタリックカラーを使った印刷データの作成(一般的な作図用アプリ)43
ブレンド印刷とレイヤー印刷45
ブレンド印刷(メタリックシルバー+ CMYK)
レイヤー印刷(メタリックシルバー ⇔CMYK)
レイヤー印刷(CMYK⇨ メタリックシルバー)
メタリックカラーチャートを印刷する(R-Works)
ユーティリティ:その他の機能62
各種調整を一連の操作で行う62
乾燥時間の設定63
すべての調整を工場出荷時の状態に戻す

カッティング/プリント&カットを行う

カット調整

きれいなカット線が出るように、カッティング条件を調整します。メディアの厚みに合せて調整してくだ さい。

手順

4

2 ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」



「カット調整」をクリックする。



「**テストカット」をクリックする**。 テストカットします。 「カッター圧」「カット速度」「カット回数」を入力する。

カッター圧

カッティング時のカッターの圧力です。強すぎると台紙まで切り抜いてしまいます。(出荷時設定: 50gf)

カット速度

カッティング時のカッターの移動速度です。速すぎるとカット線がゆがんでしまいます。(出荷時設定: 15 cm / sec.)

カット回数

同じ場所をカットする回数です。カッター圧、カット速度を調整してもカットできない場合は、カット回数をふやしてください。(出荷時設定:1回)





「適用」をクリックする。 適切に調整できるまで、 4 5 6 を繰り返して ください。



切り込み量を細かく調整する

台紙が薄いメディアのカッティングなど、切り込み量を細かく調整したいときは、カッターの刃先突出量 を調整するとよい結果が得られます。刃先突出量は、カッターホルダーのキャップ部分を回して調整しま す。1 目盛で 0.1 mm、1 回転で 0.5 mm の調整を行うことができます。

ただし、刃先突出量を少なめにすると、カッターホルダーのキャップ先端が印刷面と接触して、汚したり 傷つけたりすることがあります。インクが定着しにくいメディアを使用するときは特に注意してください。



刃先突出量の目安

刃先突出量は次の寸法を目安に設定します。



プリント&カット調整

プリント&カットを行う場合は、プリント位置とカット位置が合うように調整します。メディアの厚みに よってプリントとカッティングの位置が微妙にずれることがあります。お使いのメディアに合わせた補正 をおすすめします。

手順

カッティング用のメディアを取り付ける。

☞ P. 15「STEP1:メディアの取り付け」

2 ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」

	ノーマルクリーニング V Go
すべて	メディア送り補正
	ブリント&カット調整
手動クリーニング	
×J-9×	

「プリント&カット調整」をクリックする。



「**パターン プリント&カット」をクリックする**。 テストパターンが印刷されます。

- ⑤ 画面の解説を読んで「スキャン方向」「フィード方向」に補正値を入力する。
- **⑥**「適用」をクリックする。

「スキャン方向」「フィード方向」の値が「0」に変わります。

🔗 「閉じる」をクリックする。

カッティング/プリント&カット用データの作成

※ VersaWorks を使う場合は、『VersaWorks のヘルプ』を参照してください。
 ※ ホワイトインクモデルの場合、BN-20 ドライバーでは設定できません。VersaWorks を使用してください。

R-Works を使用する場合

R-Works のヘルプを開き、「目次」-「操作手順」で表示される「はじめに」から「Step 4:出力する」を 参照してください。

☞ P.9「BN-20 ドライバー / R-Works のヘルプの表示方法」

作図用アプリケーションソフトを使う場合

動作確認済みアプリケーションソフトウェア

- ➤ Adobe Illustrator CS6 以降
- ▶ Corel DRAW X3 以降

】 BN-20 ドライバーがカッティングラインとみなす色を設定する。

IBN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログを表示する。

☞ P.7「BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログの表示方法」



「プリンタ制御」タブの「カッティング設定」で 「カット線の色」のボタンをクリックする。 「色の設定」ダイアログが開きます。

4	5	h
	61	
ч	-	,

色の設定
Z→ 在 (E):
作成した色(<u>C</u>):

「**色の作成」をクリックする**。 色の設定ダイアログが広がって、色の作成ができ るようになります。

④「赤(R)」「緑(G)」「青(B)」に任意の値を入力する。

ここで入力した値で指定された色を BN-20 ドライバーがカッティングラインとしてみなして出力します。

色の設定		
基本色(B):		
作成した色(<u>C</u>):		
	色合い(E): 160 鮮やかさ(S): 0	赤(<u>R</u>): 1 緑(<u>G</u>): 1
色の作成(<u>D</u>) >>	色 純色(Q) 明るさ(L): 1	青(<u>U</u>): 1
ОК + १>/21/	色の追加(<u>A</u>)	

2. 印刷データを作成する

① 作図用アプリケーションソフトウェアを使って印刷データを作成する。

POINT!

ドキュメントのカラーモードは [RGB] に設定してください。CMYK モードにすると出力の ときに CMYK->RGB 変換されるため、カッティングラインとして指定した色(RGB 値) が 変わってしまうことがあります。このとき、ドライバーでカッティングラインとして指定 した色と、アプリケーションソフトウェアから出力される色が異なるため、メタリックカ ラーで印刷できなかったり、カットできなかったりします。 2 カッティングラインにしたい部分に手順 1.- ④ で設定した RGB 値を指定する。
印刷したい部分の色と手順 1.- ④ で設定した色が重複してしまう場合は、手順 1.- ④ からやり直してください。

 カッティングラインの線幅を、次のように指定する。
 Adobe Illustrator: 0.001 pt
 CoreIDRAW:極細線
 指定外の太さの線は、カッティングできないことがあります。

カッティングを伴う出力時のご注意

カッティングのみの場合のご注意

ロールメディアを使う場合は、あらかじめ後方に垂らしてから出力してください。

ロールメディアを使ってカッティングのみを行う場合は、メディアを後方に垂らしてください。メディア が無理に引っぱられてモーターエラーが起こったり、メディアが落下したりすることをふせぎます。

BN-20 ドライバーで「印刷後原点に戻る」設定にしてある場合は、引き戻す前にメディアを切り離さないでください。

BN-20ドライバーの「プリンタ制御」タブで「印刷後原点に戻る」がオンになっている場合は、メディア を引き戻す前にメディアを切り離さないでください。引き戻す前にメディアを切り離すと、メディアの無 い場所にインクを吐出してしまう場合があります。

※ホワイトインクモデルの場合、BN-20ドライバーでは設定できません。



プリント&カットの場合、カットを始める前にインクを十分に乾燥させてください。

カットを始める前にプリンターが待機する時間(乾燥時間)を R-Works、BN-20 ドライバー、または VersaWorks で設定できます。乾燥させる時間はメディアによって異なります。

☞ P.63「乾燥時間の設定」
プリントとカッティングを別々に行うには

本機では、プリントしたメディアを一度取り外し、再セットしてカッティングすることができます。 (例:プリント後にラミネートなどの加工をしたメディアを、再セットしてカッティングする) このとき、プリント位置とカット線がずれないように位置合わせをする必要があります。次の手順で行っ てください。

手順

クロップマーク付きで印刷する。

☞ P.35「クロップマーク付きで印刷する」

クロップマーク付きで印刷する

BN-20 ドライバーを使用する場合の設定方法を説明します。VersaWorks を使用する場合は、『VersaWorks のヘルプ』を参照してください。

※ホワイトインクモデルの場合、BN-20ドライバーでは設定できません。VersaWorksを使用してください。

クロップマークを自動検出できるメディアの大きさ



ID BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログを表示する。

手順

」に

④ 印刷を開始する。

☞ P. 24「STEP5:出力開始」

クロップマークは図のように印刷されます。



IMPORTANT!

グラフィックアプリケーションソフトで描いたトンボや印はクロップマークとして使用できません。

自動で位置を合わせてカッティングする

BN-20 ドライバーを使用する場合の設定方法を説明します。VersaWorks を使用する場合は、『VersaWorks のヘルプ』を参照してください。

※ホワイトインクモデルの場合、BN-20ドライバーでは設定できません。VersaWorksを使用してください。

手順

クロップマーク付きで印刷し、一度取り外したメディアを取り付けなおす。

 P.35「クロップマーク付きで印刷する」



2 BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログを表示する。

☞ P.7「BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログの表示方法」



5 カッティングを開始する。

☞ P. 24「STEP5:出力開始」

クロップカット調整

メディアの材質によっては、クロップマークを使っても印刷とカットの位置がずれることがあります。お 使いのメディアに合わせて印刷とカットのずれを補正してください。

手順

B

ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」



「クロップカット調整」をクリックする。

「**パターン印刷」をクリックする**。 テストパターンが印刷されます。

④ 画面の解説を読んで「スキャン方向」「フィード方向」を入力する。

60(Ħ

「適用」をクリックする。 「スキャン方向」「フィード方向」の値が「0」に変わります。

6「閉じる」をクリックする。

メタリックシルバーインクを使う

※ホワイトインクを使う場合は、『特色インクガイド』を参照してください。

メタリックシルバーインクの特性と注意事項

メタリックシルバーインクの取り扱いには、他の色のインクにはない大切なご注意があります。インクの 特性を必ずご理解いただいたうえでお使いください。

メタリックシルバーインクは沈殿します

メタリックシルバーインクは沈殿しやすい性質があります。放置すると沈殿した成分が固まり、プリント ヘッドが目詰まりするなどの故障につながります。

その日の作業を始める前に

メタリックシルバーインクカートリッジだけをいったん抜き、軽く振ってから再び差し込んでください。

インクの乾燥について

出力後、インクは十分乾燥させてください。特にメタリックシルバーインクは高濃度で印刷する必要があるため、CMYK インクより乾きにくいのでご注意ください。出力後、次ページの印刷を行う前にプリンターが待機する時間(乾燥時間)を設定しておくこともできます。

☞ P.63「乾燥時間の設定」

ラミネート加工を強くおすすめします

メタリックシルバーインクの耐候性は、条件によっては CMYK インクより劣ることがありますので、ラミネート加工することを強くおすすめします。

メタリックカラーを使った印刷データの作成(R-Works)

※ VersaWorks を使う場合は、『VersaWorks のヘルプ』、『特色インクガイド』を参照してください。

手順



✓ P.9「R-Worksの起動方法」

2 新規プロジェクトを作成し、作図する。

R-Worksの基本的な使用方法は R-Works のヘルプを参照してください。



をクリックし、メタリックカラーを使いたい 部分を選択する。



5「特色」にチェックを入れる。

メタリックカラー基本色、またはシルバー単色を指定できるようになります。

メタリックカラー基本色

CMYK インクとメタリックシルバーインクを配合したメタリックカラーです。



シルバー単色

メタリックシルバーインク単独の色です。濃度を指定できます。

*		色の指定		×
			- ▼ 特色 	
			100 % 90 % 80 % 70 %	E
	H: 000 de	a R: 000	50 %	
最近使った色	S: 000 %	G: 000	40 %	
	L: 000 %	B: 000	30 %	•
			ОК	+p>tul

⑥ 色を指定したら「OK」をクリックする。

メタリックカラーを使った印刷データの作成(一般的な作図用アプリ)

※ VersaWorks を使う場合は、『VersaWorks のヘルプ』、『特色インクガイド』を参照してください。 動作確認済みアプリケーションソフトウェア

新戸確認済のグラクラク ションシンドク > Adobe Illustrator CS6 以降

➤ Corel DRAW X3 以降

1. BN-20 ドライバーがメタリックカラーとみなす色を設定する。

 ● P.7「BN-20ドライバーの印刷設定ダイアログを表示する。
 ● P.7「BN-20ドライバーの印刷設定ダイアログの表示方法」

2「プリンタ制御」タブで「銀インク設定」にチェックを入れる。

「印刷データの色」をクリックする。
 「色の設定」ダイアログが開きます。

•	Roland E	3N-20 印扇	间設定		×
設定	プリンタ制御 色調整				
-92:	ョブタイプ	-¢	2燥時間		
	プリント	~	-		
	□印刷後原点に戻る □クロップマーク		0	< ກັ	
- カ:	ッティング設定		1		
	カット線の色				
	限インク設定				
		-BN-207€E	印刷する色	1.4	
	印刷データの色	Mt	100	- %	
		c	U		
		м	U		
		Y	0	%	
		K	0	%	
わ期設定に戻す					
OK キャンセル 適用(A) ヘルプ					



「**色の作成」をクリックする**。 色の設定ダイアログが広がって、色の作成ができるように なります。

⑤「赤 (R)」「緑 (G)」「青 (B)」に任意の値を入力する。

ここで入力した値で指定された色を BN-20 ドライバーがメタリックカラーで印刷する色としてみなして出力します。

色の	設定	×
基本色(E):		◀
作成した色(<u>C</u>):	色合い(E): 16 鮮やかさ(S): 0 緑(G): 167	7
色の作成(<u>D</u>) >> OK キャンセル	 色 純色(Q) 明るさ(L): 15 青(U): 167 色の追加(A) 	7

2. 印刷データを作成する

① 作図用アプリケーションソフトウェアを使って印刷データを作成する。

(POINT!)

ドキュメントのカラーモードは [RGB] に設定してください。CMYK モードにすると出力の ときに CMYK->RGB 変換されるため、メタリックカラーとして指定した色 (RGB 値) が変わっ てしまうことがあります。このとき、ドライバーでメタリックカラーとして指定した色と、 アプリケーションソフトウェアから出力される色が異なるため、メタリックカラーで印刷 できなかったり、カットできなかったりします。 2 メタリックカラーで印刷したい部分に手順 1.- 5 で設定した RGB 値を指定する。

メタリックカラーで印刷しない部分の色と手順 **1.-5** で設定した色が重複してしまう場合は、手順 **1.-5** からやり直してください。

ブレンド印刷とレイヤー印刷

ブレンド印刷とレイヤー印刷とは、メタリックシルバーインクと CMYK インクを掛け合わせる印刷方法で す。それぞれ、CMYK インクだけではできないメタリックな表現ができるようになります。ブレンド印刷 とレイヤー印刷では印刷方法が異なり、CMYK のメタリック感も異なります。ブレンド印刷とレイヤー印 刷の選択は、R-Works または BN-20 ドライバーの [印刷モード] で選択できます。お好みに合わせて使い 分けてください。

☞ P. 45「ブレンド印刷(メタリックシルバー+ CMYK)」、P. 50「レイヤー印刷(メタリックシルバー ⇔ CMYK)」、P. 55 「レイヤー印刷(CMYK⇔ メタリックシルバー)」

POINT!

ブレンド印刷とレイヤー印刷では、同じ名前のメタリックカラー、またはメタリックシルバーインクを同じ濃度で指定できます。ただし、ブレンド印刷とレイヤー印刷では印刷方法が異なるために、色味が異なります。試し印刷を行って、色味の確認をしていただくことをおすすめします。

ブレンド印刷(メタリックシルバー+ CMYK)

ここでは、メタリックシルバーインクと CMYK インクを使って、ブレンド印刷を行う方法を説明します。 ☞ P.45「ブレンド印刷とレイヤー印刷」

ブレンド印刷を行うには、メタリックシルバーインクと CMYK インクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。

☞ P. 41「メタリックカラーを使った印刷データの作成(R-Works)」、P. 43「メタリックカラーを使った印刷データの作成 (一般的な作図用アプリ)」

(印刷のイメージ図)



R-Works を使う場合

手順

① 印刷データを作成する。

☞ P.41「メタリックカラーを使った印刷データの作成(R-Works)」

2 = をクリックする。

「出力設定」ダイアログボックスが開きます。

R-Works 771	レ(E) 編集(E)	へルプ(出) _ □ ×
MAIN 新規プロジュ	×	
		Image: State of the state
		0 (X 🖬 🖯 🔶 📕 📕

③「印刷設定」の
をクリックする。
「印刷設定」の設定項目が表示されます。

4 ³⁶	出力調	〕 ×
		1 BN-20
		 ● レイアウト ② 印刷設定 シディクライブ: 塩ビー税1 ● 印刷に下: ● 印刷に下: ● 「「「」
*	() へど ビ 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	(CNYYM) オプsa> 印刷後頭点に戻る 単力



「メディアタイプ」を選択する。 使用するメディアに合わせて選択してください。

「印刷モード」で「CMYKMt」を選択する。



6

・ 印刷設定
 印刷設定
 メディアタイプ:

BN-20 ドライバーの印刷設定でも「メディアタイプ」「印刷モード」の設定ができますが、 R-Works から出力する場合は、常に R-Works の設定に従って出力されます。

6 「出力」をクリックする。

作図用アプリケーションソフトを使う場合

手順

印刷データを作成する。

☞ P.43「メタリックカラーを使った印刷データの作成(一般的な作図用アプリ)」

2 BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログを開く。





「設定」タブで「メディアタイプ」を選択する。 使用するメディアに合わせて選択してください。

「設定」タブの「印刷モード」で「CMYKMt (v)」 を選択する。

5	👼 Roland BN-20 印刷設定 💌
	・ BN-20でED刷する色・ ・ Mt 100 % ・ C 0 % ・ M 0 % ・ Y 0 % K 0 %
	初期設定に戻す OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

「プリンタ制御」タブで「ジョブタイプ」を選択 する。

⑥「OK」をクリックする。

BN-20 ドライバーの設定ダイアログが閉じます。

アプリケーションソフトウェアから印刷データを出力する。 アプリケーションソフトの使い方はアプリケーションソフト付属の取扱説明書を参照してください。

レイヤー印刷 (メタリックシルバー ⇒CMYK)

ここでは、メタリックシルバーインクと CMYK インクを使って、メタリックシルバーインクを下地にする レイヤー印刷の説明をします。

☞ P.45「ブレンド印刷とレイヤー印刷」

レイヤー印刷を行うには、メタリックシルバーインクと CMYK インクを使用するように指定した印刷データを使用する必要があります。

⑦ P. 41「メタリックカラーを使った印刷データの作成(R-Works)」、P. 43「メタリックカラーを使った印刷データの作成 (一般的な作図用アプリ)」

⁽印刷のイメージ図)



R-Works を使う場合

手順

印刷データを作成する。



③「印刷設定」の をクリックする。
「印刷設定」の設定項目が表示されます。

14 ¹	出力設定	- • ×
	1	
	€ L1791	<u> </u>
	 ● 印刷設定 ■ 50刷設定 ■ メディフライブ: ■ 「場ビー税1 ■ 日刷モード: ■ CMYKMt ■ CMYKMt 	•
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
RU-3	田力	**>セl



「メディアタイプ」を選択する。 使用するメディアに合わせて選択してください。

「印刷モード」で「Mt->CMYK」を選択する。



6

BN-20 ドライバーの印刷設定でも「メディアタイプ」「印刷モード」の設定ができますが、 R-Works から出力する場合は、常に R-Works の設定に従って出力されます。

⑥「出力」をクリックする。

作図用アプリケーションソフトを使う場合 手順 1 印刷データを作成する。 ② P.43「メタリックカラーを使った印刷データの作成(一般的な作図用アプリ)」 2 BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログを開く。 「設定」タブで「メディアタイプ」を選択する。 B -Roland BN-20 印刷設定 х 使用するメディアに合わせて選択してください。 設定 プリンタ制御 色調整 メディアサイズ A2 ¥ 印刷部数 幅(W): 420.0 1 🖨 部 mm 🗸 長さ(L): 594.0 □:5-幅を取得 メディアタイプ 塩ビ 一般1 E塩ビー般2 紙系一般 フィルム一般熱転写一般 (\mathbf{r}) CMYK Imagine. 初期設定に戻す Roland[®] バージョン情報(A)... OK キャンセル 適用(A) ヘルプ



「設定」タブの「印刷モード」で「Mt->CMYK (v)」 を選択する。

	DIA 20 Flaub	制設定	
定 アリング制御 色 空 -ジョブタイブ ブリント ブリント ガット ガット フリント & カット	¢	5燥時間 0	▼ 分
カッティング設定 カット線の色			
	- BN-2077E	印刷する色	
	Mt	100	%
印刷データの色	С	0	%
	M	0	%
	Y	0	%
	K	0	%

「プリンタ制御」タブで「ジョブタイプ」を選択 する。

⑥「OK」をクリックする。

BN-20 ドライバーの設定ダイアログが閉じます。

アプリケーションソフトウェアから印刷データを出力する。 アプリケーションソフトの使い方はアプリケーションソフト付属の取扱説明書を参照してください。

レイヤー印刷 (CMYK⇒ メタリックシルバー)

ここでは、メタリックシルバーインクと CMYK インクを使って、CMYK インクを下地にするレイヤー印刷の説明をします。

☞ P.45「ブレンド印刷とレイヤー印刷」

レイヤー印刷を行うには、メタリックシルバーインクと CMYK インクを使用するように指定した印刷デー タを使用する必要があります。

(印刷のイメージ図)



R-Works を使う場合

手順

1 印刷データを作成する。

55



③「印刷設定」の をクリックする。
「印刷設定」の設定項目が表示されます。

**	出力設定 ×
	⊙ ∪7?) ヘ DBRH2≠
	: 印刷設定 メディアタイプ:
	塩ビー般1 ▼ 印刷モード: =
< <u>m</u>	、 オブション 「印刷業度点に用る
<2 < ≚ ⊡ ⊖	
608	用力 キャンセル

4	◇ 印刷設定	
	デイアタイプ: フルルー般 塩ビー般2 紙系一般 ブルルー 熟転写一般 CCMYK Clear film	
	オプション 回 印刷後原点に戻る	

「メディアタイプ」で「フィルム一般」を選択する。

「印刷モード」で「CMYK->Mt」を選択する。



6

BN-20 ドライバーの印刷設定でも「メディアタイプ」「印刷モード」の設定ができますが、 R-Works から出力する場合は、常に R-Works の設定に従って出力されます。

6 「出力」をクリックする。

作図用アプリケーションソフトを使う場合

手順

印刷データを作成する。

☞ P.43「メタリックカラーを使った印刷データの作成(一般的な作図用アプリ)」

2 BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログを開く。





「設定」タブの「メディアタイプ」で「フィルム 一般」を選択する。

「設定」タブの「印刷モード」で「CMYK->Mt (v)」 を選択する。

5	🖷 Roland BN-20 印刷設定
	定 カンタ制御 整 ジョブタイプ ジョブタイプ ブリント マ カット 0 カッティング設定 カット線の色
	 図銀インク設定 BN-20でE印刷する色 Mt 100 % C 0 % M 0 % Y 0 % K 0 %
	初期設定□こ戻す OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

「プリンタ制御」タブで「ジョブタイプ」を選択 する。

⑥「OK」をクリックする。

BN-20 ドライバーの設定ダイアログが閉じます。

アプリケーションソフトウェアから印刷データを出力する。 アプリケーションソフトの使い方はアプリケーションソフト付属の取扱説明書を参照してください。

メタリックカラーチャートを印刷する(R-Works)

メタリックカラーチャートとは、メタリックカラーの印刷見本です。メタリックカラーチャートを印刷 することで、「お使いのプリンタ」と「お使いのメディア」で印刷できる特色メタリックカラーそのも のが表現された「完全なメタリックカラーチャート」を確認できます(プリンタやメディアのコンディショ ンによるわずかなパターンの差はあります)。このカラーチャートから色を選び、その色でアートワーク を作成すれば、意図した色をほぼ正確に再現することができます。

手順

R-Works を起動する。

☞ P.9「R-Works の起動方法」

「Mt Colors」が開きます。

R-Works	ファイル(E)	編集(<u>E</u>)	へルプ(<u>H</u>)	
MAIN				
Тор				
Heldie Colors Martinger die Alste Uniter Heldie die in Dari	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
Mt Colors				

②「MAIN」タブで、「Mt Colors」をダブルクリックする。

_ 🗆 ×

B	î	をクリックする。
	「出力設定」	」ダイアログボックスが開きます。
		R-Works ファイル(E) 総理(E) ヘルプ(出) MAIN Mt Colors ※
		R K

Metallic Colors Read Katar Calor - Hack 12 Calors Media Stree M Calor Media Stree M Calor	5173/- Our J7++ Nu J7++ Nu J7++ Nu Jeres Nu Jeres
() < x 🖬 😑 o 🤅	 *

「レイアウト」の
 ・をクリックする。
 「レイアウト」の
 設定項目が
 開きます。

14 ²	出力設定	. 🗆 🗙
	BN-20	
Metallic Colors Roland	 レイアウト 出力可能領域 297 10 mm デザインエリア サイズ 100 % 	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	位置 0.00 mm mm 部数 1▲ 0.00 mm	+r>21

「出力可能領域」に表示されているサイズで印刷されます。セットしてあるメディアサイズを確認して ください。メディアサイズが足りない場合は、足りない部分が印刷されません。メディアを交換するか、 「サイズ」で縮尺を調整してください。

5「出力」をクリックする。

各種調整を一連の操作で行う

出力のための各種調整は、「調整」タブの「すべて」をクリックすると、一連の操作で行うことができます。 調整方法は、個別に行う場合と同じです。

🐵 BN-2	0 Utility
インク 調整 交換 オプション	
すべて 手動がリーニング ステータス	/ ズルは続けの確認 / ママルクリーニング v Go ズケの個野整 ジディア送り補正 カット調整 プリント&カット調整 クロップカット調整
	閉じる
व	×
ノズル抜けの確認を行います	
キャンセル ()	<u>なへ</u> スキップ

「すべて」をクリックすると図の画面が表示されま す。

「次へ」:画面に表示されている調整の画面に進みます。 「スキップ」:画面に表示されている調整を飛ばします。 「キャンセル」:調整をキャンセルします。

出力方法によって必要な調整は異なります。次の表を参照してください。

	プリント (のみ)	カッティング (のみ)	プリント&カット	クロップカット
ノズル抜けの確認	0		0	0
双方向調整 [※]	0		0	0
メディア送り補正	0	0	0	0
カット調整		0	0	0
プリント&カット調整			0	0
クロップカット調整				0

※ CMYK インクのみでの印刷で、BN-20 ドライバーまたは VersaWorks で双方向印刷するように設定して ある場合に有効です。

※メタリックシルバーインクまたはホワイトインクを使う印刷では双方向印刷はできません。

乾燥時間の設定

次ページのプリントやカットを開始するまでに、プリンタが待機する時間を設定します。 特に、プリント&カットを行う場合は、カットを始める前にインクを十分に乾燥させてください。

R-Works から出力する場合

※ホワイトインクモデルの場合、R-Works から出力できません。

-	
	шн
	1 27

一一一をクリックする。
 「出力設定」ダイアログボックスが開きます。

■ R-Works 274/ MAIN 新規プロジョ	XP) 第第(6) へルプ(H) ※	_ = ×
		* 5077- VV77-b VV7-b V

②「印刷設定」の をクリックする。
「印刷設定」の設定項目が表示されます。

● 出力設定	- 🗆 🗙
■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
 ● U770ト ● D時設定 ■ 印刷設定 ■ 印刷設定 ※F7/9717: ////////////////////////////////////	•
(MYXH) オプ>コン (○) 八 芝 山 ⊕ ○ (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (



BN-20 ドライバーの設定は無効になります。

BN-20 ドライバーでも「乾燥時間」は設定できますが、R-Works から出力する場合は R-Works の設定が優先され、BN-20 ドライバーの設定は無効になります。

一般的な作図用アプリケーションを使って BN-20 ドライバー経由で出力する場合

BN-20 ドライバーで次の設定を行ってから、アプリケーションから出力してください。 ※ ホワイトインクモデルの場合、BN-20 ドライバーでは設定できません。VersaWorks を使用してください。

手順

Windows 10

スタートメニューから [設定] - [デバイス] - [デバイスとプリンター] の順にクリックする。 Windows 8.1

[デスクトップ]をクリックする。マウスを右下脇に移動してチャームを表示させ、[設定]をク リックする。[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイスとプリンターの 表示]の順にクリックする。

Windows 7

[スタート]-[デバイスとプリンター]の順にクリックする。



2

「Roland BN-20」のアイコンをマウスの右ボタ ンでクリックし、「印刷設定」をクリックする。 BN-20 ドライバーの印刷設定ダイアログが表示さ れます。

設 プリンタ制御 色 整		(
ジョフタイプ	乾燥時間	
プリント & カット	~	
□印刷後原点に戻る	3	~ 分
」 クロップマーク	1	
カッティング設定	5	
カット線の色	15	
)))) (i)ko)/L		
□銀インク設定	60	
	- BN-20でEIJ刷する色	2
Collin" Loop	Mt 100	%
日刷ナータの色	C 0	%
	M 0	%
	Υ 0	%
	K O	%
	ネ刀其月 話	淀に戻す

①「プリンタ制御」タブの「乾燥時間」を選択する。 適した設定時間は使用しているメディアによって 異なります。乾きにくいメディアの場合は、長め に設定してください。

②「OK」をクリックする。
 プリンターが乾燥を開始すると、ユーティリティ
 に残りの乾燥時間が表示されます。

VersaWorks から出力する場合

VersaWorks でも乾燥時間は設定できます。設定方法は、『VersaWorks のヘルプ』を参照してください。

VersaWorks の設定に関するご注意

VersaWorks での乾燥時間を設定する場合、「プリンタ本体の設定を使用」に設定すると、乾燥時間は「0」 に設定されます。BN-20 ドライバーの設定は反映されませんのでご注意ください。

65

すべての調整を工場出荷時の状態に戻す

ユーティリティの「オプション」タブで「工場出荷時に戻す」をクリックすると、ユーティリティのすべ ての設定が工場出荷時の状態に戻せます。

BN-20 Utility	×
インク 調整 交換 オブション	
インク抹き取り	
工場出荷時に戻す	
ステータス 	
開しる	

「工場出荷時に戻す」をクリックすると図のメッセージが表示されます。設定を戻す場合は「はい」をクリッ クしてください。

工場出荷時に戻す
設定がリセットされます。よろしいですか??
(はい(Y) いいえ(N)



メンテナンスについて
自動メンテナンス機能と注意事項68
継続的なメンテナンスを68
長期間使用しないときのご注意168
長期間使用しないときのご注意 268
インク残量の確認とインクカートリッジの交換
インク残量の確認70
インクカートリッジの交換方法71
日常メンテナンス
インクカートリッジのメンテナンス72
清掃72
廃液カートリッジの交換73
プリントヘッドのお手入れについて74
定期的なクリーニングメンテナンス75
定期クリーニングの方法について75
ミディアム/パワフルクリーニング75
手動クリーニング77
消耗部品の交換
ワイパーの交換79
フェルトワイパーの交換80
カッターの交換81
移送するときは
移送準備から再設置までの作業

自動メンテナンス機能と注意事項

本機は定期的に自動でメンテナンスする機能があります。プリントヘッドの乾燥を防ぐ動作などを行ない ますので、次のことをお守りください。

▶メイン電源は常にオンにしておく。

>フロントカバー、メンテナンスカバーを開けたままにしない。

継続的なメンテナンスを

日常のメンテナンス

定期的なメンテナンス

2週間に1度は電源をオンにする

2 週間に1度はサブ電源をオンにしてください。電源が入ると、プリントヘッドの乾燥を防ぐ動作などを 自動で行います。長期間放置するとプリントヘッドが壊れることがありますので、必ず実施してください。

温度と湿度を一定に保つ

使っていないときでも、温度 5 ~ 40℃、湿度 20 ~ 80% RH(ただし結露のないこと)を保ってください。 守られない場合、本機の故障の原因になります。

長期間使用しないときのご注意1

事前に残量の多いインクカートリッジを挿入しておく

インクが無くなると定期的な自動メンテナンスができないため、そのまま放置するとプリントヘッドが故 障する可能性があります。長期間使用しないことがわかっているときは、残量の多いインクカートリッジ を挿入しておいてください。

長期間使用しないときのご注意2

長期間使用しない場合には、事前に廃液カートリッジを交換しておく

長期間使用しないことがわかっているときは、次の手順で廃液カートリッジを交換しておいてください。 廃液カートリッジのご購入については、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い 合わせください。 中古の廃液カートリッジは使用しないでください。廃液量の管理ができなくなり、廃液が あふれることがあります。

▲ 警告 廃液カートリッジやインクを火気の近くに置かない。 火災の原因になります。

▲注意 廃液カートリッジのフタを開けないこと。 こぼれたり蒸気がもれたりすると、火災につながったり臭いで気分が悪くなったりすること があります。

手順

IMPORTANT!)



廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。

廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄しないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。



インク残量の確認

インク残量はユーティリティのインクタブで確認できます。色付き目盛が多いほどインクが多く残ってい ます。

※表示はインク残量の目安です。実際の残量とは多少異なります。



また、インク残量が少なくなるとタスクトレイのユーティリティアイコンにメッセージが表示されます。 ユーティリティで残量の少なくなったインクを確認し、交換用カートリッジを用意してください。


インクカートリッジの交換方法

インクがなくなると「ピピッ」というブザー音が鳴って、印刷が一時停止します。空のカートリッジを引 き抜き、新しいものを差し込んでください。印刷が再開します。



(IMPORTANT!) カートリッジ交換時のご注意

- ▶ 必ず同じ種類のものと交換してください。
- >他の種類を決して混ぜないでください。
- インクカートリッジを抜いたまま放置しないでください。プリントヘッドが目づまりすること があります。
- ▶ 使いかけのインクカートリッジをむやみに抜き差ししないでください。
- ▶ プリンタが動いているときに、いきなりインクカートリッジを抜かないでください。

▲警告 インク、洗浄液、廃液は次の場所に保管しない。

- ▶ 火気のある場所
- ▶ 高温になる場所
- > 漂白剤などの酸化剤、爆発物のそば
- > 子供の手の届く場所

火災の恐れがあります。子供が誤って飲むと、健康障害の恐れがあります。

日常メンテナンス

インクカートリッジのメンテナンス

以下のことを必ず行ってください。インクの成分は沈殿する性質を持っています。特にメタリックシルバー インクとホワイトインクは成分が沈殿しやすいので、放置すると沈殿した成分が固まり、故障などのトラ ブルの原因になります。

▶ 新品のインクカートリッジは、軽く振ってから取り付ける。

▶ その日の作業を始める前に、メタリックシルバーまたはホワイトのインクカートリッジだけをいったん 取り外して、軽く振ってから再び取り付ける。

清掃

▲警告 ガソリン、アルコール、シンナーなどの燃えやすいものは使わない。 火災の原因になります。

日常的な清掃として、メディアの通り道を中心にインクや汚れをふき取ってください。とくにピンチロー ラーやグリットローラー、またはプラテンなどに汚れがつきます。水で薄めた中性洗剤を含ませてかたく しぼった布でふいてください。

▶本機は精密機器ですので、ほこりや塵を嫌います。日常的な清掃を心がけてください。

▶ 注油は一切しないでください。



廃液カートリッジの交換

廃液カートリッジに廃液がいっぱいになると、ユーティリティが自動的に表示され、ステータス欄にカートリッジ交換を促す下記のメッセージが表示されます。メッセージにしたがって、交換用廃液カートリッジの用意、またはカートリッジの交換を行ってください。

廃液カートリッジがいっぱいです。 新しい廃液カートリッジを挿入してください。 交換用の廃液カートリッジをお持ちでないときは、 プリンターの電源をオフにしてください。

▲注意 ユーティリティにメッセージが表示されてから、廃液カートリッジを外すこと。 手順を守らないと、本体から廃液が出てきて廃液が手についたり、こぼれて床を汚したりす ることがあります。



交換すると下記のメッセージが表示されます。メッセージにしたがって操作してください。

新しいカートリッジに交換しましたか? 交換した場合は[はい]を押してください。 交換用の廃液カートリッジをお持ちでないときは、 プリンターの電源をオフにしてください。

廃液カートリッジのご購入については、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問い 合わせください。

中古の廃液カートリッジは使用しないでください。廃液量の管理ができなくなり、廃液があふれることが あります。

▲警告 廃液カートリッジやインクを火気の近くに置かない。 火災の原因になります。

廃液は、地域の条例に従い、適切な方法で処理してください。

廃液には引火性があり、有害な成分も含まれています。廃液を焼却したり、一般のゴミと一緒に廃棄し ないでください。また、下水や河川に流さないでください。環境に影響を及ぼす恐れがあります。

プリントヘッドのお手入れについて

いつでも最適な印刷ができるようにするためには、プリントヘッドのお手入れが必要です。日々行ってい ただきたいお手入れと、定期的におこなっていただきたいお手入れがあります。

日々のお手入れ

ノーマルクリーニング

定期的なお手入れ

☞ P.75「定期的なクリーニングメンテナンス」

※ プリントヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です。お買い上げの販売店 または当社コールセンターまでご連絡ください。

定期クリーニングの方法について

本機にはいくつかのクリーニングメニューがあります。インクの種類や時期、状態に応じて実施してください。

ノーマルクリーニング	毎日の作業開始前にテストプリントを行い、ノズル抜けがある場合に実施します。 ☞ P. 22 「STEP3 : テ ストプリントとノーマルクリーニング」
ミディアムクリーニング	ノーマルクリーニングではノズル抜けが直らない場合にミディアムク リーニングを、ミディアムで直らない場合は、パワフルクリーニングを
パワフルクリーニング	実施してください。
手動クリーニング	ご使用の頻度に応じて定期的に行ってください。常に安定した出力状態を保っていただくためには、月に一度以上は手動クリーニングを行ってください。
	☞ P. 77「手動クリーニング」

ミディアム/パワフルクリーニング

ノーマルクリーニングでノズル抜けなどが直らないときは、より強力な「ミディアムクリーニング」を2~3 回行ってください。それでも状態が改善しない場合は、さらに強力な「パワフルクリーニング」を行います。

POINT!

ミディアムクリーニングは、ノーマルクリーニングよりもインクの消費量が多くなります。また、 パワフルクリーニングは、ミディアムクリーニングよりもインクの消費量が多くなります。あま り頻繁に行うとプリントヘッド自身も傷みやすくなりますので、必要以上に行わないでください。

手順

ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」



「調整」タブで「ミディアムクリーニング」を選択し て「Go」をクリックする。



「ノズル抜けの確認」をクリックする。



「**パターン印刷」をクリックする**。 テストパターンが印刷されます。画面の解説を読んで、 ノズル抜けを確認してください。

ノズル抜けしている ⇔ **⑤** へ ノズル抜けしていない ⇔「閉じる」をクリックして終了。



「ミディアムクリーニング」を選択して「Go」をクリッ クする。 ミディアムクリーニングを開始します。

6 もう一度ノズル抜けを確認する。 ⇒ 4 へ

「ミディアムクリーニング」でノズル抜けが直らない場合は、「パワフルクリーニング」を行ってください。

パワフルクリーニングも効かないときは

パワフルクリーニングを数回行ってもノズル抜けなどが直らないときは、「手動クリーニング」を行って ください。

☞ P. 77「手動クリーニング」

手動クリーニング

手動クリーニングが必要なとき

月に一度以上は行ってください

常に安定した出力状態を保っていただくために、月に一度以上は手動クリーニングを行ってください。

次のような症状が出たときは、手動クリーニングをおすすめします

次のような症状が出たとき、ノーマルクリーニングなどの自動クリーニング機能で直らない場合は、手動 クリーニングを行ってください。

なお、ワイパーの交換も症状の改善に効果的です。

☞ P.79 「ワイパーの交換」



- ▶ 手動クリーニングで使用するクリーニングスティックと洗浄液を使い切ったら、お買い上げの販売店または 当社コールセンターまでご連絡ください。
- ▶ プリントヘッドは消耗部品です。ご使用の頻度により定期的な交換が必要です。お買い上げの販売店または 当社コールセンターまでご連絡ください。

(IMPORTANT!)

作業にあたってのお願い

- >この作業はメディアを取り外してから行ってください。
- > ヘッドの乾燥を防ぐため、30分以内に作業を終わらせてください。30分を過ぎると警告音が鳴ります。
- > 付属のクリーニングスティック以外は使わないでください。綿棒などの毛羽の出るものはか えってヘッドを傷めます。クリーニングスティックを使い切ったら、お買い上げの販売店また は当社コールセンターまでご連絡ください。
- ▶ クリーニングスティックはクリーニングのたびに1本ずつ使いきってください。クリーニング スティックの使いまわしは印刷品質を低下させます。
- ▶ 清掃に使ったクリーニングスティックを洗浄液の中に浸さないでください。洗浄液が劣化します。
- > ヘッドのノズル面はこすらないでください。
- >スポンジ部分はごく軽くなでるようにします。こすったり押しつぶしたりしないでください。

クリーニング中に警告音がなったときは

作業開始から30分が経過すると、プリントヘッドの乾燥を防ぐために警告音がなります。ユーティリティに表示されるメッセージにしたがって操作してください。

▲ 注意 必ずユーティリティに表示される手順通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。
機械が突然動き、けがをすることがあります。

手順

1 ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」



「調整」タブで「手動クリーニング」をクリックする。



手動クリーニングの方法が表示されます。表示内容をよ く読んで作業を進めてください。

⑤ テストプリントを行って結果を確認する。

必要に応じて何度か本機のクリーニング機能を使ってクリーニングをしてください。 ☞ P. 22「STEP3: テストプリントとノーマルクリーニング」

ワイパーの交換



ワイパーはプリントヘッドのクリーニングに使われる部品です。コンピューターのタスクトレイの ユーティリティアイコンに図のメッセージが表示 されたら、交換時期です。新しいものと交換して ください。

ワイパーの購入については、お買い上げの販売店 または当社コールセンターまでお問い合わせくだ さい。

ワイパー交換中に警告音がなったときは

作業開始から 30 分が経過すると、プリントヘッドの乾燥を防ぐために警告音がなります。ユーティリティ に表示されたメッセージにしたがって操作してください。

▲ 注意 必ずユーティリティに表示される手順通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。 機械が突然動き、けがをすることがあります。

手順

1 ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」



⑥ 作業が終了したら、フロントカバーを閉じる。

フェルトワイパーの交換



フェルトワイパーはプリントヘッドのクリーニン グに使われる部品です。コンピューターのタスク トレイのユーティリティアイコンに図のメッセー ジが表示されたら、交換時期です。新しいものと 交換してください。

フェルトワイパーの購入については、お買い上げ の販売店または当社コールセンターまでお問い合 わせください。

フェルトワイパー交換中に警告音がなったときは

作業開始から 30 分が経過すると、プリントヘッドの乾燥を防ぐために警告音がなります。ユーティリティ に表示されたメッセージにしたがって操作してください。

▲注意 必ずユーティリティに表示される手順通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。 機械が突然動き、けがをすることがあります。

手順

ユーティリティを表示する。

♀ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」



をよく読んで作業を進めてください。

6 作業が終了したら、フロントカバーを閉じる。

カッターの交換

カッターの切れ味が悪くなったとき、刃先が欠けたとき、カット品質が悪くなったときは、新しいカッター と交換してください。

▲ 注意 必ずこの手順の通り作業し、指示以外の場所にはさわらない。 機械が突然動き、けがをすることがあります。

▲注意 カッターの刃先にさわらない。 けがをすることがあります。

手順

ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」

•	BN-20 Utility	
インク	調整 交換 オプション	
ſ	ツール交換	
Ľ		
	フェルトワイパー交換	

「交換」タブで「ツール交換」をクリックする。



図の画面が表示されたら、フロントカバーを開けてカッ ターを交換してください。



カッターホルダーを取り出す。





カッターを交換する。

ネジを支えながら、カッターホルダーを差し 込む。 下から支えずに取り付けると、カット品質が悪 くなることがあります。



8162

ネジをしっかりと締める。 上に引っぱり抜けないことを確認してください。





キャリッジが止まっていることを確認し、フロントカパーを開け、ツールを交換してなさい。 交換したあ と、カパーを開し、マルルを交換してください。 交換したあ ください。

☞ P.28「カット調整」

7

移送するときは

移送準備から再設置までの作業

本機を移送するには、内部のインクを完全に抜き取り、プリントヘッドを保護するために梱包材で固定す る必要があります。そのまま移送すると、インクが漏れて内部の機器を痛めたり、プリントヘッドを 壊す 原因になりますのでご注意ください。

必要なもの

ご購入が必要な場合は、本機をお買い上げの販売店または当社コールセンターまでお問合せください。

- ・未使用の洗浄カートリッジ(1本)
- ・ダミーカートリッジ(4本)
- ・カートリッジ挿入用治具(1個)

ご注意

洗浄カートリッジは、必ずインク種類に合ったものを使用してください。間違えて使用すると、本機は故 障します

手順

1 ユーティリティを表示する。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」

2「オプション」タブで「ヘッド洗浄」をクリックする。

画面の指示にしたがって作業を進めてください。作業が完了するまで、途中で電源をオフにしないで ください。

	BN-20 Utility	×
インク調整	交換 オプション	
	ヘッド洗:争	
7		
×J -5×		
1		門1:2
		L

- ・
 日本ので、
 日本ので
- 移送後、すぐに設置し直し、インクを充てんする。 「ファーストステップガイド」を参照して、すぐにインク充てんを行なってください。

移送作業のご注意

- ▶準備ができたら、速やかに移送しインクを充てんしてください。インクを抜いたまま放置するとプリントヘッドを痛めます。
- > 移送時は、温度 5 ~ 40℃、湿度 20 ~ 80% RH(ただし結露のないこと)を保ってください。故障の原因になります。
- >衝撃を与えたり、傾けたりしないよう、慎重に移送してください。



困ったときに読ん	しでください	
動いてく	くれない	86
きれい	こ印刷/カッティングできない	
メディフ	アが詰まった・・・!	89
メディフ	アの送りが安定しない	
プリン	トヘッドが動かない	91
ドライバ	バーをインストールできない	92
ドライバ	ベーをアンインストールする	94
一般的アプリケー	-ションからの出力時のご注意	
Adobe	Illustrator から出力するときの注意事項.	
CorelDF	RAW から出力するときの注意事項	96
メッセージ / エラ	- メッセージへの対応	
メッセ-	ージが表示された	97
エラーン	メッセージが表示された	
主な仕様		
最大領域	或	
クロッフ	プマーク使用時の最大領域	
カッタ-	ーについて	
定格電源	原およびシリアル番号の表示位置	
寸法図.		
仕様一覧	覧表	

困ったときに読んでください

動いてくれない

プリンター本体が動かない

電源がオンになっていますか?

プリンターのメイン電源をオンにしてから POWER キーを押し、ランプが点灯したのを確認してください。

POWER キーのランプが点灯していますか?

POWER キーのランプが点灯していないと出力しません。メディアを取り付けたらローディングレバーを 手前に引いてください。

POWER キーのランプが点滅していませんか?

POWER キーのランプが点滅しているときは、出力キャンセル以外の操作を受け付けません。

カバーが開いていませんか?

フロントカバー、メンテナンスカバーを閉めてください。

インクがなくなっていませんか?

インクがなくなった状態で出力データを送ると、警告音が鳴り一時停止状態になります。ユーティリティ のステータス欄には、インクがなくなったことを伝えるメッセージが表示されます。新しいインクカート リッジに交換すると出力を開始します。

タスクトレイのユーティリティアイコン、またはユーティリティ画面にメッセージが表示されていません か?

※ P.97「メッセージが表示された」、P.98「エラーメッセージが表示された」

ケーブルが接続されていますか?

ケーブルをしっかり接続してください。

☞「ファーストステップガイド」

ドライバーは正しくインストールされていますか?

コンピューターとの接続を手順通りに行わないと、ドライバーが正しくインストールされません。ドライ バーが適切でないと、ユーティリティは正常に機能しません。接続を正しい手順で行ったか再確認してく ださい。

☞「ファーストステップガイド」

1台のコンピューターに本機を複数台接続していませんか?

ユーティリティは複数台の機器を同時に制御することができません。1 台のコンピューターに本機を複数 台接続しないでください。

部屋の温度が低すぎませんか?

本機はヒーターが既定の温度にならないと、起動完了とならず、操作も受け付けません。環境温度が低い とヒーターが温まりにくくなります。本機は、20 ~ 32℃の環境で使用してください。

USB を使った着脱可能な外部記憶装置を無理やり取り外しませんでしたか?

USB を使った着脱可能な外部記憶装置 (USB メモリーやハードディスクなど)を PC から取り外すとき、 [ハードウェアの安全な取り外し]を実施してください。あるいは、エクスプローラーで目的のデバイス の [取り出し]を実施してください。この作業をしないまま BN-20 の印刷中に USB デバイスを取り外すと、 正常に印刷が続けられなくなることがあります。

きれいに印刷/カッティングできない

印刷が粗い/横すじが入る

プリントヘッドがノズル抜けを起こしていませんか?

テストプリントを行い、ノズル抜けがないか確認してください。ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

「メディア送り補正」はしてありますか?

「双方向調整」はしてありますか?

双方向印刷を行う場合は、その日の作業開始前とメディアの種類を交換したときには、「双方向調整」の 実施をおすすめします。おもにメディアの厚みによって最適な補正は変わってきます。

☞ P.20「STEP2:双方向調整」

部屋の温度が低すぎませんか?

20℃未満では、ヒーターが十分温まらないことがあります。また、ヒーターが温まっても、メディアが冷 え切っていると十分な効果が出ません。メディアを室温になじませてから印刷してください。

プリンターは水平で安定した場所に設置してありますか?

傾いている場所、揺れたり振動したりする場所には設置しないでください。また、プリントヘッドに風が 当たらないようにしてください。これらは、ノズル抜けや印刷品質の低下を招くことがあります。

プリンターは直射日光の当たらない場所に設置してありますか?

直射日光の当たる場所には設置しないでください。ノズル抜けや印刷品質の低下を招くことがあり、故障の原因にもなります。

メディアのセット方法は適切ですか?

色が安定しない/ムラになる

インクカートリッジを軽く振ってから取り付けましたか?

新しいインクカートリッジを取り付ける前には、インクカートリッジを軽く振ってください。 メタリックシルバーインクまたはホワイトインクを使用する場合は、一日の作業を開始する前にそれぞれ のインクカートリッジを軽く振ってください。

メディアがしわになっていませんか?

メディアがしわになってプラテンから浮いた状態になると、色がむらになったり、印刷品質が低下したり します。

☞ P.90「メディアの送りが安定しない」

プリンタは水平で安定した場所に設置してありますか?

傾いている場所、揺れたり振動したりする場所には設置しないでください。また、プリントヘッドに風が 当たらないようにしてください。これらは、ノズル抜けや印刷品質の低下を招くことがあります。

環境の変化が激しい場所でプリンタを使用していませんか?

印刷中に温度や湿度が大きく変化すると、色味が途中で変わってしまうことがあります。印刷するときは、 温度や湿度が安定した場所で使用してください。

印刷するとメディアが汚れる

プリントヘッドが汚れていませんか?

次のことが原因で、印刷中、メディアの上にインクが垂れることがあります。

▶ヘッドのまわりに繊維状のほこりなどが付いている

>メディアをこすった影響でヘッドにインクがべったり付いている

このようなときは、パワフルクリーニングを行ってください。定期的なプリントヘッドの清掃をおすすめ します。

☞ P.75 「定期的なクリーニングメンテナンス」

▶ 湿度が低すぎる。

35~80% RH(ただし結露がないこと)の環境で使用してください。

カットがずれる/ゆがむ

メディアのセット方法は適切ですか?

メディアのセットが適切でなかったり、メディアの送りがスムーズでなかったりすると、カッティングに 悪影響を与えます。メディアを正しくセットしてください。

☞ P.90「メディアの送りが安定しない」

カッティング条件の設定は適切ですか?

カッティング速度が速すぎたり、カッター圧が強すぎたりすると、位置ずれやゆがみの原因になります。 カッティング条件を変えてみてください。粘着層の粘りが強いメディアは、カット後すぐに粘着層部分が つながります。しかし、カッティングテストをして、メディアのはがれ具合と台紙に付いたカッターの跡 が最適であればメディアは切れています。カッター圧を大きくしすぎないように注意してください。

☞ P.28「カット調整」、P.30「切り込み量を細かく調整する」、P.30「刃先突出量の目安」

出力の長さが長すぎませんか?

プリント&カットする場合、ひとつのページが長くなるほど(つまり、プリント後にメディアを引き戻す 距離が長いほど)位置ずれが起きやすくなります。1ページの大きさは必要最小限にするとよいでしょう。

伸縮の大きいメディアを使用していませんか?

プリント&カットする場合、メディアが伸縮すると位置がずれてしまいます。このようなときは、クロッ プマーク付きで印刷し、ベースポイントとアラインポイントを設定してからカッティングをしてみてくだ さい。メディアの伸縮が補正されます。

☞ P.35「プリントとカッティングを別々に行うには」

カッティング時に印刷面に傷がつく

カッターホルダーのキャップ先端が印刷面をこすっていませんか?

カッターホルダーのキャップ先端が印刷面をこすって、印刷面を汚したり傷つけたりすることがあります。 このようなときは、カッターの刃先突出量を多めにしてください。

☞ P.30「切り込み量を細かく調整する」

メディアが詰まった・・・!

メディア詰まり

メディアづまりのためエラー表示が出たときは、すぐにその対処をしてください。プリントヘッドが壊れる ことがあります。

☞ P.98「エラーメッセージが表示された」

メディアが反ったりしわになったりしていませんか?

反りやしわにはさまざまな原因があります。以下をご覧のうえ対処してください。

☞ P.90「メディアの送りが安定しない」

メディアの送りが安定しない

メディアがスムーズに送られないとさまざまなことが起こります。印刷品質が悪くなる、プリントヘッド がメディアに当たる、位置ずれする、メディアづまりするなどの原因になります。次のように対処してく ださい。

メディアがしわになる/縮む

メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディ アをセットし直してください。

☞ P.15「STEP1:メディアの取り付け」

メディアをセットしたまま放置しませんでしたか?

メディアを長時間加熱すると縮んだりしわになったりすることがあります。印刷が完了したら POWER キー を長押ししてサブ電源をオフにするか、メディアを取り外してください。

ヒーター温度が高い状態でメディアをセットしませんでしたか?

ヒーターが温まった状態でメディアをセットすると、急激に温まるため、印刷時に縮んだりしわになった りすることがあります。サブ電源をオフにしてプラテンを冷ましてからメディアをセットしてください。

部屋の温度が低すぎませんか?

本機は、20~32℃の環境でお使いください。20℃未満の環境でお使いの場合、メディアの種類や幅によっては、しわになったり、温度むらになったりすることがあります。安定した印刷結果を得るためには、20~32℃の環境で本機をお使いください。

部屋の湿度が高すぎませんか?

本機は、35~80%RH(ただし結露のないこと)の環境でお使いください。

使用しているメディアにたわみがありませんか?

たわんだメディアを使用すると、メディアにしわができてしまいます。

メディアが斜行する

メディアはまっすぐきちんとセットしてありますか?

斜めになっていたり、メディアの張り具合が左右で違っていたりするとスムーズに送られません。メディ アをセットし直してください。

☞ P.15「STEP1:メディアの取り付け」

メディア送りがなめらかでない

メディアが何かにぶつかったりしていませんか?

メディアに何かがさわらないようにしてください。見た目には送りがスムーズでも、印刷に影響すること があります。

☞ P.15「STEP1:メディアの取り付け」

90 第4章 付録

メディアが厚すぎませんか?

厚すぎるメディアは、送りが不安定になるばかりでなく、プリントヘッドをこすって故障の原因にもなり ます。このようなメディアは使用しないでください。

グリットローラーが汚れていませんか?

プリントヘッドが動かない

プリントヘッドキャリッジがプラテン上で止まってしまったときは、ヘッドの乾燥を防ぐためすぐに対処 してください。

はじめに行う処置



操作ボタンを1秒以上長押しして サブ電源をいったんオフにし、ふ たたびオンにしてください。 プリントヘッドキャリッジがスタ ンバイポジション(本体右側)に 移動すれば完了です。

それでもプリントヘッドが動かない場合

メイン電源をオフにし、再びメイン電源、サブ電源の順でオンにしてみてください。

どうしても動かないときは

「はじめに行う処置」を行っても動かないときは、次の応急処置を施したうえでお買い上げの販売店また は当社コールセンターまでご連絡ください。 手順

2



メイン電源をオフにし、フロントカバーを開 ける。

プリントヘッドキャリッジを手で静かに動か し、スタンバイポジションまで持っていく。 「カチッ」と音がしたところで止めると、プリ ントヘッドが固定されます。

右側から静かに力を加え、左側に動かないことを確認する。
 左側に動いてしまった場合は、もう一度左側からゆっくりプリントヘッドを移動し、固定されること
 を確認してください。

0

0

0

ドライバーをインストールできない

インストールが途中で中断してしまったときや、USB ケーブルを接続してもウィザードが表示されないときは、次のようにしてください。

Windows 10

- 1.[新しいハードウェアの検出]が表示されていたら、[閉じる]をクリックして閉じます。
- スタートメニューをマウスの右ボタンでクリックし、[デバイスマネージャー]をクリックします。
 [ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら、[続行]をクリックします。[デバイスマネージャー] が表示されます。
- 3. [表示] メニューから [非表示のデバイスの表示]をクリックします。
- 4. リストで [プリンター] もしくは [ほかのデバイス] を探し、それをダブルクリックします。その下に 表示されたお使いの機種名または [不明なデバイス] をクリックして選択します。

- 5.[操作]メニューから[削除]をクリックします。
- 6.「デバイスのアンインストールの確認」画面で [OK] をクリックします。 [デバイスマネージャー] を閉 じます。
- 7. コンピューターから USB ケーブルを外し、Windows を再起動します。
- 8. ドライバーをアンインストールします。P.94「ドライバーをアンインストールする」Windows10の 手順3以降に従って、ドライバをアンインストールしてください。
- 9.「BN-20 ファーストステップガイド」を参照して、最初からインストールをやりなおします。

Windows 8.1

- 1. 機器とコンピューター間を USB ケーブルで接続して、機器の電源をオンにします。
- [新しいハードウェアの検出]が表示されていたら、[閉じる]をクリックして閉じます。本機以外のプリンターの USB ケーブルを抜いておきます。
- 3.[デスクトップ]をクリックします。
- 4.マウスを右下隅に移動してチャームを表示させ、[設定]をクリックします。
- 5. [PC 情報] をクリックします。
- 6. [デバイスマネージャー]をクリックする。[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら、[続行]を クリックします。[デバイスマネージャー]が表示されます。
- 7.[表示]メニューから[非表示のデバイスの表示]をクリックします。
- 8. リストで [プリンター] もしくは [ほかのデバイス] を探し、それをダブルクリックします。その下に 表示されたお使いの機種名または [不明なデバイス] をクリックして選択します。
- 9. [操作] メニューから [削除] をクリックします。
- 10.「デバイスのアンインストールの確認」画面で、[OK] をクリックします。[デバイスマネージャー]を 閉じます。
- 11. コンピューターから USB ケーブルを外し、Windows を再起動します。
- 12. ドライバーをアンインストールします。P.94「ドライバーをアンインストールする」Windows 8.1 の手順3以降に従って、ドライバーをアンインストールしてください。
- 13.「BN-20 ファーストステップガイド」を参照して、最初からインストールをやりなおします。

Windows 7

- 1.[新しいハードウェアの検出]が表示されていたら、[閉じる]をクリックして閉じます。
- [スタート]メニューをクリックし、[コンピューター]をマウスの右ボタンでクリックします。[プロ パティ]をクリックします。
- 3. [デバイスマネージャー]をクリックします。[ユーザーアカウント制御]画面が表示されますので、[続行]をクリックします。[デバイスマネージャー]が表示されます。
- 4.[表示]メニューから[非表示のデバイスの表示]をクリックします。
- 5. リストで [ほかのデバイス] を探し、それをダブルクリックします。その下に表示されたお使いの機種 名または [不明なデバイス] をクリックして選択します。
- 6. [操作] メニューから [削除] をクリックします。
- 7.「デバイスのアンインストールの確認」画面で「このデバイスのドライバソフトウェアを削除する」を 選択し、[OK] をクリックします。[デバイスマネージャー]を閉じます。
- 8. コンピューターから USB ケーブルを外し、Windows を再起動します。

9. ドライバーをアンインストールします。P.94「ドライバーをアンインストールする」Windows7の手順3以降に従って、ドライバーをアンインストールしてください。
 10.「BN-20 ファーストステップガイド」を参照して、最初からインストールをやりなおします。

ドライバーをアンインストールする

ドライバーをアンインストールするときは、次の手順でおこなってください。

Windows 10

※次の手順でアンインストールしない場合、再インストールできなくなる可能性があります。

- 1. アンインストール作業をする前に、コンピュータから USB ケーブルを抜いておきます。
- 2.「コンピューターの管理者」のアカウントで Windows にログオンします。
- 3. スタートメニューをマウスの右ボタンでクリックし、[アプリと機能]をクリックします。
- 4. 削除する機器のドライバーをクリックして選択し、[アンインストール]をクリックします。
- 5. 削除確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- 6. [スタート] メニューをマウスの右ボタンでクリックし、-[ファイル名を指定して実行] をクリックし ます。[参照]をクリックします。
- 7. ドライバーの入ったドライブ名またはフォルダ名を選択します。(※注釈)
- 8.「SETUP.EXE」を選択して[開く]をクリックしたあと、[OK]をクリックします。
- 9.[ユーザーアカウント制御]が表示されますので、[許可]をクリックします。
- 10. ドライバーのインストーラプログラムが起動します。
- 11.[アンインストール]をクリックして選びます。削除する機器を選択して、[開始]をクリックします。
- 12. コンピューターの再起動が必要な場合は再起動を求める画面が表示されますので、[はい]をクリック します。
- 13. コンピューターの再起動が終了するとアンインストール終了です。
- (※注釈) DVD を使うときは、次のフォルダを指定します。(DVD ドライブが D ドライブの場合)
 - D:\Drivers\WIN8X64 (64 ビット版)

D:\Drivers\WIN8X86 (32 ビット版)

Windows 8.1

※次の手順でアンインストールしない場合、再インストールできなくなる可能性があります。

- 1. 機器の電源を切り、コンピューターと機器間の接続ケーブルを外します。
- 2. Windows を起動します。
- 3.[デスクトップ]をクリックします。
- 4. マウスを右下隅に移動してチャームを表示させ、[設定]をクリックします。
- 5.[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 6. 削除する機器のドライバーをクリックして選択し、[アンインストール]をクリックします。
- 7. 削除確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- 8.[スタート]-[デスクトップ]をクリックします。
- 9. エクスプローラーを起動し、ドライバーの入ったドライブとフォルダを開きます。(※注釈)
- 10.「SETUP64.EXE」(64 ビット版)、または「SETUP.EXE」(32 ビット版)をダブルクリックします。

94 第4章 付録

- 11.[ユーザーアカウント制御]が表示されたら、[許可]をクリックします。ドライバーのインストーラー プログラムが起動します。
- 12.[アンインストール]をクリックします。削除する機器を選択して、[開始]をクリックします。
- 13. コンピューターの再起動が必要な場合は再起動を求める画面が表示されたら、[はい]をクリックしま す。
- 14. コンピューターが再起動したあと、再びコントロールパネルを表示し[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- 15. 削除する機器のアイコンがある場合は、そのアイコンを右クリックし、[デバイスの削除]をクリック します。
- (※注釈) DVD を使うときは、次のフォルダを指定します。(DVD ドライブが D ドライブの場合)
 D:¥Drivers¥WIN8X64 (64 ビット版)

D:¥Drivers¥WIN8X86 (32 ビット版)

DVD を使わない場合は、削除する機器のドライバーを当社ホームページ (http://www.rolanddg.co.jp/) からダウンロードし、解凍先のフォルダを指定します。

Windows 7

※次の手順でアンインストールしない場合、再インストールできなくなる可能性があります。

- 1. アンインストール作業をする前に、コンピュータから USB ケーブルを抜いておきます。
- 2「コンピューターの管理者」のアカウントで Windows にログオンします。
- 3.[スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックします。[プログラムのアンインストール] をクリックします。
- 4. 削除する機器のドライバーをクリックして選択し、[アンインストール]をクリックします。
- 5. 削除確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。
- 6.[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[ファイル名を指定して実行]を選択して、[参照] をクリックします。
- 7. ドライバーの入ったドライブ名またはフォルダ名を選択します。(※注釈)
- 8.「SETUP.EXE」を選択して[開く]をクリックしたあと、[OK]をクリックします。
- 9.[ユーザーアカウント制御]が表示されますので、[許可]をクリックします。
- 10. ドライバーのインストーラプログラムが起動します。
- 11.[アンインストール]をクリックして選びます。削除する機器を選択して、[開始]をクリックします。
- 12. コンピューターの再起動が必要な場合は再起動を求める画面が表示されますので、[はい]をクリック します。
- 13. コンピューターの再起動が終了するとアンインストール終了です。
- (※注釈) DVD を使うときは、次のフォルダを指定します。(DVD ドライブが D ドライブの場合)

D:¥Drivers¥WIN7X64 (64 ビット版)

D:¥Drivers¥WIN7X86 (32 ビット版)

-般的アプリケーションからの出力時のご注意

Adobe Illustrator、および CoreIDRAW から BN-20 ドライバーを使って出力する場合の注意事項です。 VersaWorks を使う場合にはこれらの注意事項はあてはまりません。

Adobe Illustrator から出力するときの注意事項

Illustrator CS6 以降:矩形(長方形)の線または塗りをメタリックカラーで印刷することはできません。

ここでいう矩形とは、以下のすべての条件を満たす矩形を指します。

- ▶ アンカーポイントが4点
- ▶4つの角がすべて 90 度
- ▶回転角が0°、90°、180°、270°のいずれか

※大文字の1や小文字のiも、この条件にあてはまることがあります。

回避するには、対象の矩形を選び [オブジェクト]--[パス]--[アンカーポイントの追加]を実行してください。 矩形の場合は、その形状を変えずにアンカーポイントを追加することができます。文字の場合は、あらか じめアウトライン化しておいてから上記のコマンドを実行してください。

メタリックカラーで印刷するときやカッティングをするときは、[プリント]ダイアログボックスの[ビット マッププリント]をオフにしてください。

[プリント]ダイアログボックスは、[ファイル]-[プリント]コマンドを実行したときに表示されます。

ドキュメントのカラーモードは [RGB] に設定してください。

CMYK モードにすると出力のときに CMYK->RGB 変換されるため、メタリックカラーやカッティングラインとして指定した色(RGB 値)が変わってしまうことがあります。このとき、ドライバーでメタリックカラーやカッティングラインとして指定した色と、Illustrator から出力される色が異なるため、メタリックカラーで印刷できなかったり、カットできなかったりします。

Illustrator で印刷のキャンセルをしないでください。

キャンセルは BN-20 本体の POWER キーを長押ししてください。Illustrarotr から印刷をすると印刷中を示 すダイアログが表示されます。このダイアログに表示されている [キャンセル] ボタンをクリックしても 印刷処理は続行され、処理が終わるまで Illustrarotr が操作できなくなります。

CorelDRAW から出力するときの注意事項

ドキュメントのカラーモードは [RGB] に設定してください。

CMYK モードにすると出力のときに CMYK->RGB 変換されるため、メタリックカラーやカッティングラインとして指定した色(RGB 値)が変わってしまうことがあります。このとき、ドライバーでメタリックカラーやカッティングラインとして指定した色と、CoelDRAW から出力される色が異なるため、メタリックカラーで印刷できなかったり、カットできなかったりします。

メッセージが表示された

正しい操作を促すために、ユーティリティに表示されるおもなメッセージです。特にエラーを示すもので はありません。ここに掲載されている以外にもユーティリティにはメッセージが表示されます。表示され ているメッセージに従って操作してください。

〔***インクのインクカートリッジを攪拌(よく振る)してください。〕

***の部分に表示されているインクカートリッジを抜いてよく振ってください。特に、メタリックシル バーインクとホワイトインクはその日の作業開始時に必ず一度振るようにしてください。

☞ P.40「メタリックシルバーインクの特性と注意事項」、P.72「インクカートリッジのメンテナンス」、『特色インクガイド』

〔廃液カートリッジが満タンです。〕

〔ワイパーを交換してください。〕

ワイパーの交換時期が来ました。ワイパーを交換してください。 ☞ P.79「ワイパーの交換」

〔フェルトワイパーを交換してください。〕

〔機器との接続が解除されました。〕

本機とコンピューターを接続している USB ケーブルが外されたか、本機のメイン電源またはサブ電源がオフになっています。メイン電源がオフの状態で放置すると自動メンテナンスができなくなり、故障の原因になります。メイン電源は常にオンにしておいてください。

〔手動クリーニングを実行してください。〕

エラーメッセージが表示された

ユーティリティに表示されるエラーメッセージの一部とその対処方法です。ユーティリティには、ここに 掲載しているメッセージの他にもエラーの原因や対処法が表示されます。ユーティリティに表示されてい る対処法やここで説明する対処をしても復帰できない場合、または、ここにないエラーメッセージが表示 された場合は、販売店もしくは当社コールセンターまでご連絡ください。

ピンチローラーの位置が正しくありません。

本機にセットできるメディアサイズではないために、ピンチローラーの位置が正しくない

ピンチローラーの位置が正しくないとメディアを適切に固定できません。本機ではピンチローラーを正し く配置できるメディアサイズが決まっています。

☞ P.10「使用できるメディアの条件」のサイズ

クロップマークを印刷できませんでした。出力がキャンセルされます。

クロップマークを含めたデータサイズに対して、取り付けたメディアの印刷領域が足りない

大きなメディアに取り替えたり、ピンチローラのセット位置を変えたりして、印刷またはカッティング領 域を広げてデータを送り直してください。

☞ P.35「プリントとカッティングを別々に行うには」

出力するデータの大きさが小さすぎる

スキャン方向(プリントヘッドの移動方向)のデータサイズを 65 mm 以上にしてください。データサイズを大きくしてデータを送り直してください。メディア送り方向のデータサイズには制限がありません。

クロップマーク検出を開始できませんでした。/クロップマークが見つかりませんでした。出力がキャンセルされます。

クロップマークの自動検出ができなかった

正しい位置にメディアを取り付け、再度クロップマークの検出を行ってください。再度クロップマークの 自動検出を行ってもエラーが表示されるときは、メディアの種類を変更してください。メディアによって は自動検出ができないことがあります。

ヘッド乾燥保護のため、停止しました。プリンターの電源をオフにしてください。

プリントヘッドの乾燥を防ぐため強制的にスタンバイポジションに移動した

続行はできません。サブ電源をオフにした後、再びオンにしてください。出力中にフロントカバーを開け ると緊急停止しますが、この状態でプリントヘッドを放置しないでください。

〔モーターエラー〕

モーターエラーが発生した

続行はできません。ユーティリティに表示されるメッセージにしたがってメディアを取り除き、フロン トカバーを閉じてから POWER キーを長押ししてサブ電源をオフにしてください。このエラーの原因には、 メディアのセット方法の誤り、メディアづまり、メディアを無理に引っぱる操作などがあります。原因を 取り除いてからサブ電源をオンにして、メディアをセットしなおしてください。

〔廃液カートリッジ FULL エラー〕

廃液カートリッジがいっぱいになったために、出力を中止した

そのまま再開はできません。ユーティリティに表示されるメッセージにしたがって、新品の廃液カートリッジに交換してください。すぐに交換できる廃液カートリッジが無い場合は、メイン電源をオフにしてください。

〔温度エラー〕

設置場所の温度が動作可能な環境温度より高くなった、または低くなった

続行はできません。サブ電源をオフにしてください。設置場所を動作可能な温度(20 ~ 32℃)にした後、 電源をオンにしてください。

〔カバーオープンエラー〕

フロントカバー、またはメンテナンスカバーが開いているために出力を中止した カバーを閉じてから、出力しなおしてください。

〔シートセットアップエラー〕

メディアのセットアップに失敗しています。メディアは正しく取り付けてください。 ☞ P.15「STEP1:メディアの取り付け」

〔データエラー〕

受信したデータに異常があったため出力を中止した

続行はできません。データに異常がないか確認してください。また、接続ケーブルやコンピューターに異 常がないか確認し、出力しなおしてください。

インクがなくなりました。

インクがなくなったために出力を中止した

ユーティリティのインクタブでインクがなくなったカートリッジの色を確認し、新しいインクカートリッジに交換してください。

☞ P.70「インク残量の確認」、P.71「インクカートリッジの交換方法」

ピンチレバーが戻されました。

出力中にローディングレバーが後ろに倒されたために出力を中止した

ローディングレバーが後ろに倒されるとメディアのセットアップが解除されますので、出力を中止します。 メディアをセットしなおしてください。

メディアがありません。

出力しようとしたがメディアがないために出力できない メディアをセットしてください。

メディアの端まできたので、印刷を続けられません。印刷をキャンセルします。

メディアの後端を検出したために印刷を中止した

メディアの後端を検出すると、出力はキャンセルされます。新しいメディアを取り付けてください。

〔サービス コール No *〕

復帰不能なエラーが発生した、または、サービスマンによる部品交換が必要になった

表示画面に表示されている番号を確認してから、メイン電源をオフにします。電源オフ後、お買い上げの 販売店または当社コールセンターに表示画面に表示された番号をご連絡ください。

〔***インクカートリッジが不正です。〕

使用できないインクカートリッジを取り付けた

表示されている色のインクカートリッジを抜き取ると復帰します。インクカートリッジは指定のものをご 使用ください。(「***はインクの色名)

〔BN-20 Utility は既に起動しています。〕

ユーティリティが起動されているのに、起動しようした

ユーティリティは常駐ソフトのため、画面上に表示されていなくても動いています。画面上に表示されて いない場合は、コンピューターの画面右下のタスクトレイに格納されています。

☞ P.8「ユーティリティの表示方法/終了方法」

〔洗浄液カートリッジが空になりました。新品の洗浄液に交換してください。〕

洗浄液カートリッジが空になったために、作業を中止した

「ヘッド洗浄」を実施しているときなどに表示されます。そのまま再開することはできません。すぐに新 しい洗浄液に交換してください。そのまま放置すると故障の原因になります。

主な仕様

最大領域

取り付けたメディアの横方向(キャリッジの移動方向)の印刷/カッティング領域は、ピンチローラーの 位置で決まります。



クロップマーク使用時の最大領域



カッターについて

同じカッターを使っていても、メディアや使用環境によって、カッティング条件やカッターの寿命は変わってきます。また、カッターの種類によって寿命も違います。おおよその目安は下記のとおりです。

カッター	メディア	カッター圧	カッターオフ セット (刃先補正量)	寿命 (目安)*
ZEC-U1005	サインシート一般	50 ~ 150 gf	0.25 mm	8000 m
ZEC-U5025	サインシート一般	30 ~ 100 gf	0.25 mm	4000 m
	蛍光シート	120 \sim 200 gf	0.25 mm	4000 m
	反射シート	$100{\sim}200{ m gf}$	0.25 mm	4000 m

カッター圧をこの表に示したものより 50 ~ 60 gf 以上高くしても切り残しができる場合はカッターを交換してください。

*「寿命」は、同一種類のメディアをカットした場合の目安です。

定格電源およびシリアル番号の表示位置



寸法図

単位:mm





仕様一覧表

		BN-20
印刷方式		ピエゾインクジェット方式
取付可能なメディア	幅(*1)	150 ~ 515 mm
	厚み	台紙を含め最大 1.0 mm (印刷時) 台紙を含め最大 0.4 mm かつ台紙を除き 0.22 mm (カッティング時)
	ロール外径	最大 150 mm
	ロール重量	最大 6 kg
	紙管内径	76.2 mm(3 インチ)および 50.8 mm(2 インチ)
印刷/カッティング幅(*2)		最大 480 mm
インクカートリッジ	種類	220 cc カートリッジ
	色	5色(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、ホワイトまた はメタリックシルバー) 4色(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック)
解像度(印刷ドット解修	象度)	最大 1440 dpi
カッター	種類	CAMM-1 シリーズ用カッター
	オフセット	0.25 mm
カッティング速度		1 ~ 15 cm/s
カッター圧		$30 \sim 300 \text{ gf}$
ソフトウェア分解能(カ	コッティング時)	0.025 mm/step
距離精度(印刷時)(*3)	(*4)	移動距離の±0.3%以下または±0.3mm以下のうち大きい値
距離精度(カッティング時)(*3)(*5)		移動距離の± 0.4%以下または± 0.3 mm 以下のうち大きい値
反復精度(カッティング	ブ時)(*3)(*6)	± 0.1 mm 以下
印刷とカッティングの位置	置合わせ精度 (*3) (*7)	± 0.5 mm 以下
メディア再セット時の印刷とカッティング の位置合わせ精度 (*3) (*8)		メディア移動距離の± 0.5%以下または± 3 mm 以下のうち大 きい値
プリントヒーター (*9)		温度:35℃(固定)
インターフェース		USB(Universal Serial Bus Specification Revision 2.0 準拠)
省電力機能		自動スリープ機能
電源条件	1	AC 100 - 240 V ± 10 % 、 1.0 A、 50 / 60 Hz
消費電力	動作時	約 90 W
	スリープモード時	約 5.5 W
動作音	動作時	62 dB (A) 以下
	待機時	42 dB (A) 以下
外形寸法		1,009(幅)× 582(奥行)× 293(高さ)mm
		36 kg
境境	動作時(*10)	温度:20~32℃ 湿度:35~80%RH(ただし結露のないこと)
	非動作時	温度:5~40℃、湿度:20~80%RH(ただし結露のないこと)
付属品		■ 電源コード、USB ケーブル、カッター、カッターホルダー、 Roland Software Package、ソフトウェア RIP(VersaWorks)、取 扱説明書 ほか

(*1) ただし、次の範囲内に限ります。 ・150~170 mm (5.9~ 6.7 インチ) ・200~235 mm (7.9~9.3 インチ) ・287~322 mm (11.3~12.7インチ) ・348~383 mm (13.7~15.1 インチ) ・393~429 mm (15.5~16.9 インチ) ・439~474 mm (17.3~18.7 インチ) ・487~515 mm (19.2~20.3 インチ) (*2) 印刷/カッティング長さは、アプリケーションソフトによる制限を受けます。 (*3) ・メディア種類:当社指定メディア ・温度:25℃、湿度:50% ・ロールメディアを正しくセットする。 ・フロントマージン:35 mm 以上 ・メディアの伸縮は除く ・本機のすべての補正/調整機能を正しい方法で補正/調整済であること。 (*4) 1m印刷時 (*5) 1mカッティング時 (*6) 反復精度保証範囲:長さ1,000mm (*7) ・メディア送り方向の長さが 1,000 mm 以内であること ・メディアの斜行、伸縮による影響を除く (*8) ・データサイズ:メディア送り方向 1,000 mm、キャリッジ移動方向 480 mm ・ラミネート加工なし ・メディア再セット時にクロップマーク4点を自動検出する ・メディアの伸縮、メディアの再セットによるずれを除く (*9)

・電源投入後、ウォームアップが必要です。環境によって異なりますが、5~20分程度必要となります。 ・環境温度やメディアの幅によっては、35℃に達しないことがあります。

(*10)

動作環境



Roland